POSE (POINT SEQUENCE MANAGER) SE10-8A7B1

詳細版

■ 取扱説明書 ■

明京電機株式会社

# ご購入ありがとうございます

POSE(POint SEquence manager)(SE10-8A7B1) をご購入いただき誠にありがとうござい ます。POSE(POint SEquence manager)(SE10-8A7B1)(以下,本装置または本製品と省略)は ネットワーク経由でシステム機器の制御/管理をする接点制御装置です。各8個の無電圧接点を個別に遠 隔制御/管理できます。PINGによる死活監視に加えて,年間スケジュール機能をご利用になれます。

本装置が皆様の所有されるネットワークシステムにおいて、有効かつ有用なツールとして機能すること を願っております。

最新情報を記載しておりますので購入後、以下のページを必ずご覧ください。

https://www.meikyo.co.jp/product/

### この取扱説明書を必ずお読みください

本書はセットアップ手順と,操作,設置,安全の確保などのための手順が記載されています。 ご使用の前に,必ず本書をお読みください。

### 付属品一覧

本製品には次の付属品が同梱されています。必ずご確認ください。

- 1. セットアップガイド 兼 保証書
- 2. ACアダプター
- 3. コネクタ端子台(4個)
- 4. コネクタ着脱工具
- 5. ACアダプターコード固定電材(一式)

# 安全上のご注意

この取扱説明書での表示では、本装置を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしてい ます。その表示と意味は以下のようになっています。本文をよくお読みいただき、内容をよくご理解の上、 正しくご使用ください。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

▲警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性 か想定される内容を示しています。
▲注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害*の発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは家屋家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

分解・改造禁止	<ul> <li>○は、禁止(してはいけないこと)を示します。</li> <li>具体的な禁止内容は ○の中や近くに絵や文章で示します。</li> <li>左図の場合は「分解・改造の禁止」を示します。</li> </ul>
してアダプターを抜く	●は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。左 図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示 します。



### ●万一異常が発生したら、ACアダプターをすぐに抜く! 煙、変な音、においがするなど、異常状態のまま使用しないでください。火災や感 電の原因となります。このようなときは、すぐにACコンセントからACアダプタ ーを抜いてお買い上げの販売店や弊社にお問い合わせください。

●AC100V(50または60Hz)以外の電源電圧では使用しない 表示された電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しないでください。特に 110Vを越える電圧では製品を破壊するおそれがあり、火災の原因となりますの で、絶対に接続しないでください。

●ACアダプターを傷つけたり、加工、過熱、修復したりしない コードに重いものを載せたり、熱器具に近づけたりしないでください。コードが損 傷し火災や感電、故障の原因となります。また、コードを加工したり無理に曲げ たり引っ張ったりすることも、火災や感電の原因となるのでおやめください。コー ドが傷んだ場合はお買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。

●極めて高い信頼性や安全性が必要とされる機器に接続しない 本装置はパソコン及びパソコン周辺機器と接続する用途に設計されています。人 命に直接関わる医療機器などの極めて高い信頼性または安全性が必要とされる機 器には接続しないでください。



# ●異物を入れない

製品に、金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。 万一異物が入った場合はすぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜い て、お買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。



液体を近くに置かない





ACアダプターを抜く

交流100V

コードを乱暴に扱わない

パソコン機器専用



ントから抜き,前面のコネクタをすべて抜いて,お買い上げの販売店,または弊社 までお問い合わせください。 ACアダプターを抜く





# ●ACアダプターを抜くときはコードを引っ張らない

ACアダプターを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。 コードを引っ張って抜くと傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

# コードを引っ張らない

●風通しの悪いところに置かない 製品を密閉された場所に置かないでください。熱がこもり、やけどや火災、故障の

原因となることがあります。

風通しの悪い場所禁止

### ●温度が高くなるところに置かない

直射日光の当たるところや熱器具の近くなど、高温になるところに置かないでく ださい。やけどや火災、故障の原因となることがあります。

### ●お手入れのときは

本装置の本体が汚れた場合は、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ、よく絞っ てから軽く拭いてください(絶対に、ACアダプターやコネクタなどの接続部をこ の方法で拭かないでください)。薬品類(ベンジン・シンナーなど)は使わないで ください。変質・変色する場合があります。本体に接続されているACアダプター やコネクタなどの接続部のお手入れは、ACアダプターやコネクタを抜いて、機器 を傷つけないよう軽く乾拭きしてください。いずれの場合も、必ず本装置のACア ダプターをコンセントから抜き、本装置に接続されているACアダプターやコネク タ類も全て抜いてから行なってください。感電や故障の原因となることがありま す。

# ●湿気やほこりの多いところに置かない

湿気やほこりの多い場所や調理台、加湿器の近くなど、油煙や湯気があたるような 場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。

# 湿気・ほこり禁止

逆さま禁止

### ●逆さまに設置しない

本装置を逆さまに設置しないでください。また、布等でくるんだ状態での使用もお やめください。特に、ビニールやゴム製品が接触している状態での使用はおやめく ださい。火災や故障の原因となることがあります。



6



温度が高い場所禁止

電源プラグ を抜く



目次	
目次	
第1章 はじめに	
1. 機能概要	
2. 各部の名称と機能	
3. DIPスイッチの設定	
4. LED表示について	
第2章 設置・取り付け	
1. 設置・取り付け	
2. ラックへの取り付け	
3. 固定方法	
第3章 初期設定	
1. 初期設定	
2. 初期化の方法	
第4章 WEBブラウザでの設定,制御	
1. ログイン	
2. 設定項目	
3. 状態表示項目	
4. 接点制御	
5. CPUリセット	
第5章 その他の設定	
1. TELNETによる設定	
第6章 その他の制御	
1. TELNET接続による制御	
2. メールからの制御	
3. WEBコマンドからの制御	
第7章 ロギング機能	
1. ロギング機能の設定・表示	
第8章 PPPoEの使用	
1. PPPoEについて	
2. 設定について	
3. 制御について	
4. 動作について	
第9章 シャットダウンスクリプト	
1. スクリプト仕様について	
第10章 SNMPについて	
1. SNMP120117	
2. 機器設定	
3. MIBについて	
第11章 接点情報延長機能	
<ol> <li>接点延長機能について</li></ol>	
2. 設定	
3. 接点制御方法	
4. 動作概要	
第12章 仕様一覧	
■ 変数一覧	
■ ログー覧表	

コマンドー覧表	.13	30
仕様一覧表	.13	32
接点入出力インターフェース	.13	33

第1章 はじめに

# 1. 機能概要

本装置には以下の機能があります。

- 1) 各8個の入出力接点を個別に制御/管理 7つのA接点出力と1つのB接点出力 (接点出力1から7はA接点出力,8はB接点出力)
- 2)通信による接点制御
  - ・WEBからの接点制御と設定
  - SSH/TELNETからの接点制御と設定
  - ・PPPoEクライアントとしての接続に対応
  - ・SNMPによる接点制御と設定
  - ・E-Mailによる接点制御と設定
- スケジュールによる制御
   ・年間スケジュールによる接点制御
- 4) MAGIC PACKETによる起動とスクリプトによるシャットダウン
- 5) 監視機能
  - ・接点状態の監視
  - ICMPによる死活監視(PING監視)
- 6) 各デバイスへの遅延接点投入
  - ・本体電源投入時に、指定した順番、タイミングによる各接点出力
- 7) 通信中継機能
  - ・TELNETクライアントとして通信
- 8) 通知機能
  - •E-Mailによる通知
  - SNMPによる通知
- 9) 通信による遠隔バージョンアップ
- 10) 接点情報延長モード
  - ・親機1台, 子機 最大8台での遠隔操作, 連動制御

# 2. 各部の名称と機能

# (1) 各部の名称



1 LAN	LANケーブル(8ピンRJ45)を接続します。
2 10/100 LED	LANの通信速度を表示します。
3 LINK/ACT LED	通信状態を表示します。
④ RESETスイッチ	接点出力に影響を与えずにCPUを初期化します。
5 DIPスイッチ	初期設定、本体設定に使用します。
6 SW	手動操作に利用するスイッチです。
⑦ DC	ACアダプターのDCジャックを接続します。
8 N	入力端子を接続します。(8端子)
9 OUT	無電圧出力端子を接続します。(8端子)

### (2) 付属のコネクタ端子台への接続方法

- ・AWG 28 (0.08mm<sup>2</sup>) ~AWG 16 (1.31mm<sup>2</sup>) [1.5 mm<sup>2</sup>まで] をご使用ください。
- ・端子への接続にあたって、まずあらかじめコネクタ端子台(付属品)のM2ネジを精密プラスド ライバーで緩めてください。そしてケーブルの先端部被覆を6mmほど剥ぎ取り差し込みま す。その後、抜けないようにM2ネジをしっかり締めてください。

### (3) コネクタ端子台の外しかた



コネクタ着脱工具を図のようにコネクタの間の溝に差し込み溝を広げていきます。 左側を広げ、右側を広げ、また左側を広げ、のように徐々に溝を広げていくと外しやすくなります。

(4) ACアダプターコードの固定方法



通して締め付けます。



# 3. DIPスイッチの設定

#### DPスイッチの機能(OFFは「上」,ONは「下」を意味します。)

NO.	状態	モード
	OFF	通転モード
Ι	ON	初期化
C	OFF	運転モード
2	ON	(接点情報延長モード)子機モード
3	OFF	通点ホード
	ON	メンテナンスモード、初期化
4	OFF	OFFに固定
	ON	未使用

#### DIPスイッチの設定

DIPスイッチNo.		1	2	3	4
(33) (35) (35) (35) (35) (35) (35) (35)	OFF				
通市建和可	ON				
⋨╖⋕⋳≡∿⋳≑⋼	OFF				
们舟后又是回到	ON				
	OFF				
	ON				

注意 DIPスイッチ操作また設定終了後は、必ず、本体前面のRESETスイッチを押してください。誤動作する恐れがあります。 初期設定は、第3章 「初期設定」、「初期化の方法」を参照にして設定してください。

# 4. LED表示について

### LINK/ACT 10/100 LED

### 通信状態を表示します。

LED	LED点灯状態	状態
	点灯	リンク時
LINN/ACT LLD	消灯	データ受信時(連続データでは点滅)
	点灯	100BASE-TXでリンク時
10/100 LED	消灯	10BASE-Tでリンク時



# 1. 設置・取り付け

以下の手順で設置します。

- 1)本体を設置場所に置きます。設置場所は、ACアダプターのジャックが、差し込める位置である ことを確認します。
- 2)本体前面のLAN用コネクタにLANケーブルを接続します。
   (PCと直接接続する場合、クロスのLANケーブルをご使用ください)
- 3)付属のACアダプターをコンセントに接続し、ACアダプターのジャックを本体DCに接続します。

注意 本装置を逆さまに設置しないでください。火災や故障の原因となるこ とがあります。

# 2. ラックへの取り付け

以下の手順でラックに取り付けます。

- 1) ラック・キャビネットにプレートを取り付けます。 プレートはラックサイズに合った一般市販品をご用意ください。
- 2) ラック・キャビネットに本装置を設置します。
- 3)本体前面LAN用コネクタにLANケーブルを接続します。 (PCと直接接続する場合、クロスのLANケーブルをご使用ください)
- 4) 付属のACアダプターをコンセントに接続し、ACアダプターのジャックを本体DCに接続します。

# 3. 固定方法

本装置固定のため設置用の穴があります。

底面についている設置用の穴(4箇所)を利用して機器を固定します。 取り付け用のねじは、M3×8L(MAX)をご利用ください。

注意壁面に取り付ける場合は、オプションの取付金具ATTO2が便利です。オプション:取付金具(ATTO2)標準価格3,000円(税抜)



# 1. 初期設定

# (1) RPCサーチソフトを利用する場合

RPCサーチソフトを利用して頂ければ、同一セグメント上の本装置を検索し接続することができます。 http://www.meikyo.co.jp/archive/からダウンロードすることができます。 DHCP機能を利用した場合のようにIPアドレスが分からない場合でも、本装置を検索し接続すること ができます。(DHCP初期値:有効)

設定用PCと本装置とは、DHCPサーバーの存在するLANに接続します。

1) RPCサーチソフトを起動し、「検索」ボタンをクリックします。



#### RPCサーチソフト起動画面

2)検索した機器を選択し、「WEB接続」ボタンをクリックするとWEBブラウザが起動しログイン 画面が表示されます。

RPO	RPC search Ver 3.0																
<	<< 機器 覧 発見数9 <u>設定</u>																
No.	型番	IPアドレス	MACアドレス	バージョン	稼働時間	機器名称	電源	接点OUT	接点IN	状態表示	温度	MAX	MIN	UTC	機器時間		$\Box$
1	RSC-MT8FS	192.168.001.208	00:09:EE:00:81:2B	0.62A 170929	00000 - 00:29:15	Noname	8	1.	1.		-	-	-	-	2017/10/04 水	10:19:14	1
2	RSC-MT8FS	192.168.001.180	00:09:EE:00:81:2A	0.61A 170927	00000 - 01:40:10	Noname	8	1.	1.		-	-	-	-	2017/10/04 水	10:19:16	
3	RPC-M5CS	192.168.001.222	00:09:EE:01:45:F6	1.00B 170317	00000 - 01:40:10	Noname	4 1234	-	-	-	-	-	-	-	2017/10/04 水	10:19:16	
4	RSC-MT4HS	192.168.001.216	00:09:EE:00:4D:85	1.00A 170619	00000 - 01:40:14	Meikyo-MT4HS	4 1234	4	4		0.0	29.9	0.0	-	2017/10/04 水	10:19:16	
5	RPC-M5CS	192.168.001.214	00:09:EE:01:45:F7	1.00B 170317	00005 - 19:45:09	Noname	4 12	-	-	-	-	-	-	-	2017/10/04 水	10:19:14	
6	RSC-MT8FP	192.168.001.062	00:09:EE:00:81:0D	1.30A 141006	00368 - 09:09:01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
7	SE10-8A7B1	192.168.001.048		1.10A 160108	02078 - 14:53:49												
8	RPC-M5C	192.168.001.252	00:09:EE:00:97:F5	1.43B 130330	02177 - 02:29:40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
9	RPC-M4L	192.168.001.068	00:09:EE:00:31:41	1.45A 140317	04414 - 23:22:01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	🔵 WEB接続	TEL	NET接続								「稼饉	如時間			<u> </u>	,検索	
																	_

#### RPCサーチソフト機器検索画面

注意

「LINK/ACT」「10/100」LEDがいつまでも、交互に点滅している時は、 DHCPによるアドレス取得ができない状態です。DHCPサーバーを確認 するか、IPアドレスを固定にしてご利用ください。

### (2) IPアドレスを固定にして利用する場合

DHCP機能を無効にすると固定のIPアドレスを設定できます。外部のネットワークから接続するために固定IPアドレスを必要とする場合などは、DHCP機能を無効にして「IPアドレス」を設定します。

設定用PCと本装置とは、LAN用コネクタにLANケーブルで接続します。 (PCと直接接続する場合は、クロスのLANケーブルになります。)

- 1) LANやVPN上に192.168.10.1および2のIPアドレスを持つホストがないことを確認します。
- 2) 設定用PCのPアドレスとネットマスクを以下の通り設定します。
   IPアドレス : 192.168.10.2
   ネットマスク : 255.255.255.0
- 3)本体前面のDIPスイッチ3をONにします。 (メンテナンスモードになり, IPアドレスが192.168.10.1となります。)

メンテナンスモードの場合、LANの通信速度は10BASE-Tでつながる設 注意 定になっている必要があります。

- 4)本体前面のRESETスイッチを押します。
- 5) 設定用PCのWEBブラウザを起動します。 http://192.168.10.1を指定し、本装置にアクセスします。

ブラウザはJavaScriptとフレームに対応している必要があります。 注意

6) Management menu画面が表示されます。

モデル名	SE10-8A7B1
バージョン	0.20A 130529
MACアドレス	00:09:EE:00:09:99
IPアドレス	192.168.1.110
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	
DNSサーバーアドレス	
DHCP機能	○有効 ⊙無効
HTTP機能	⊙有効 ○無効
HTTPボート	80
TELNET機能	⊙有効 ○無効
TELNETボート	23
リンク速度とDuplex	自動検知 💙
IPフィルター機能	○有効 ⊙無効

- 7)「DHCP機能」を無効にチェックし「適用」をクリックします。その後、IPアドレス欄にご利用になるLANに適切なIPアドレスを入力します。
- 8) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。
- 9)本体前面のDIPスイッチ3をOFFにします。(運用モードにします。)
- 10)本体前面のRESETスイッチを押します。
- 11) Webブラウザを閉じます。
- 12) 設定用PCのIPアドレスを元に戻します。

注意	設定後は、必ず「適用」をクリックし、「RESETスイッチ」を押してくだ
	さい。「RESETスイッチ」を押さないと設定が反映されません。

注意 本装置は時計を内蔵していますが、開梱時には時刻ずれが生じていること が予想されます。NTPサーバーの設定(第4章2.(2)[1])を行ってからご 使用ください。

# 2. 初期化の方法

本装置を初期化して出荷状態に戻します。

(まだACアダプターをコンセントに接続しないでください。)

- 1)本体前面のDIPスイッチ1と3のみON(下)にします。
- 2) ACアダプターをコンセントに接続し、ACアダプターのDCジャックを本体のDCに接続し 電源を供給します。
- 3)本体前面のLINK/ACT LEDが5秒間点灯します。点灯中に本体前面のRESETスイッチを1 秒程度,押します。
- 4) 初期化が成功するとLINK/ACT LEDが点灯します。
- 5) RESETスイッチを押す前にLINK/ACT LEDが消灯した場合は一旦ACアダプターのDCジャックを抜き、電源を供給からやり直してください。
- 6) 初期化後は、DIPスイッチを全てOFF(上)にし、再度電源を供給してからご使用ください。
- 7) 以上で初期化が終わりましたので、前項目の「初期設定」から実行してください。

注意 初期化中には本体の電源を切らないで下さい。

**第4章** WEBブラウザ での設定,制御

# 1. ログイン

インターネットでアクセスする場合は、通信機器の設定が必要です。通信機器の設定などは通信機器のマニュアルに従ってください。(PROXY経由ではご利用になれません)

- 注意 ブラウザはJavaScriptとフレームに対応している必要があります。半角 記号 "?", "=", "%", "&", (カンマ)", "(ダブルクォーテーション)" は入力しないで下さい。
- 1) RPCサーチソフトを起動し、「検索」ボタンをクリック検索した機器を選択し、「WEB接続」 ボタンをクリックする。またはWEBブラウザを起動し、本装置に設定されたIPアドレスを指 定してアクセスします。
  - (例 IPアドレス : 192.168.10.1 )

HTTPポート番号「80」デフォルトの場合 http://192.168.10.1

HTTPポート番号「500」に設定した場合 http://192.168.10.1:500

ログイン画面

🖉 SE10-8A7B1 Login (Noname) – Windows Internet Explorer		
G → E http://192.168.11.110/	🖌 🖻 🕂 🗙 👂 Bing	P-
ファイル(E) 編集(E) 表示(M) 約束(2入り(A) ツール(E) ヘルプ(M) × 発致換・整選択 × EPSON E-WebPrint・最Print (B)Olip 面Olip		
👷 わ気に入り 🛛 🦕 🎦 Yahool JAPAN 🝨 indexPro 社名検索 🖲 Amazon.co.jp: 通販 - ファッ. 🚯 【象天市場】Shopping is Ent. 📲 よみたん - よみがな検索シス. 📴 おすずめサイト・		
(# SE10-9A7B1 Login (Noname)	🚹 • 🖾 - 🗆 🖷 • ページ®・ セ	~7Fr@)* V-N@)* 🚱• "
SE10-8A7B1 Login [Noname]		
ユーザーID バスワード		
ユーザーIDとバスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックしてください。		
A -TRATINAL A	A Anto-tak	×
x=2/0400/e146/0/e	U9-49F	1 4A + 44 1008 + 1

2) ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

3) 簡易情報表示画面が表示されます。

#### 簡易情報表示画面

🖉 SE18-8A7B1 Web Console [Noname] - Windows Int	ternet Explorer			
C→  Attp://192.168.11.110/			<ul> <li>B 4 × P Bing</li> </ul>	P-
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(D) へルウ	7(日) 🗴 🗞 変換 • 🏂 選択 🛛 🗴 EPSON	E-Web Print - 🖶 Print 🖾 Clip 🚍 Clip		
👷 お気に入り 🛛 🖕 🗤 Yahoo! JAPAN   🔶 index.Pro 社名検索 🐰	â, Amazon.co.jp: 遺版 - ファゥ 🔞 【東天市場】Shopping is Ent	- 📳 よみたん - よみがな検索シス 🕨 おすすめ	サイト ▼	
SE10-8A7B1 Web Console [Noname]			🛅 · 🔝 - 🖂 🖶 · ペークD・ セーフティビ・ ツールの・	• • · · ·
				^
状況表示項目 第月時初まご		簡易情報表示	更新	
「副物」同学校次小	接占中力情報			
イベントログ表示	18/ALLI/JIHTE			
制御項目	No. 接点出力名	称状態		
接点出力制御	1 NV Output1			
設定項目	2 NV Output2			
通信設定	3 NV Output3			
監視設定	4 NV Output4			
スケジュール設定	5 NV Output5			1
システム情報	6 NV Output6			
PING送信	7 NV Output7			
CDUILH2wb	8B NV Output8			
admin				
	接点入力情報			
192.168.11.3		40.00		
ログアウト	No. 名称	17.85		
明京電棍株式会社	1 NV Inputi			
	2 NV Input2			
	3 NV Inputo			
	4 NV Input4			
	5 NV Input5			
	6 NV Input6			
	7 NV Input7			
ページが表示されました ● 1/2m-2m3 ● 1/2m3 ● 1/2m-2m3 ● 1/2m3 ● 1/2m-2m3 ● 1/2m3 ● 1/2m-2m3 ● 1/2m3 ● 1/				
📑 スタート 🔰 🧿 🛎 🕲 🦈 🐨 Xiview - げラウザ -	📃 🌆 ( $f_0 >>> C.WDocu. 🛛 🙇 rpcsearch$	SE10-8A7B1 Web Co	● A般 ● ■ 1 () 1 ()	1725

注意

簡易情報表示は現在の本装置の状態を表示する画面で実際に制御することは出来ません。

# 2. 設定項目

# (1) 基本設定

### [1] 基本設定

本装置の基本的な設定をします。

1) 画面左側設定項目の「基本設定」をクリックします。基本設定画面が表されます。

基本設定	画面			
	基本設定	2		
	基本設定 詳細設	2 セキュリテ・ セキュリティ	(設定	
時間設定	PCによる時刻設定	時刻設定		
※特殊記号は利用できません。 機器設定				
機器名称 Noname 設置場所 Nowhere				
	NO. 按点击力名称	※1 ※2	₩3	
	1 NV Output1	1 1	0	
	2 NV Output2	2 2	0	
	3 NV Output3	3 3	0	
接点出	4 NV Output4	4 4	0	
מ	5 NV Output5	5 5	0	
	6 NV Output6	6 6	0	
	7 NV Output7	7 7	0	
	8 NV Output8	8 8	0	
動作				
t-r				
	8 V~JV ~			
*	《1 全接点ON命令時 ※2 電源	投入時 ※3 スケジュ-	-ル時	

接点入力設定		
	_	
	1	NV Input1
	2	NV Input2
	3	NV Input3
位上了力々在	4	NV Input4
按总入力名称	5	NV Input5
	6	NV Input6
	7	NV Input7
	8	NV Input8
	1	順極性 > レベル >
	2	順極性 ~ レベル ~
	3	順極性 ~ レベル ~
	4	
動作モード	5	 順極性 ~ レベル ~
	6	
	7	
	•	
	0	
	1	Short Open
	3	
連動接点	4	
前御コマント	5	
	6	
	7	
	8	
		利田可能コマンド
NJH PJ IE J Y J P           SONn         指定された接点出力の出力開始         n = 1~8           SOFn         指定された接点出力の出力停止         n = 1~8           SSRn         指定された接点出力のリバース(反転)         n = 1~8           MSON         全接点出力の出力開始         m = 1~8           MSOF         全接点出力の出力停止         m = 1~8           MSOF         全接点出力の出力停止         m = 1~8           MSSET         全接点出力の設定         m = 1~8		
	-	
wake On LAN設力	E.	
47. 5.11-		MACTFUX
按点田/	11	
接点山	J2	
接上山	]3	
接点出刀4		
接点出刀5		
接点団ノ	J0 17	
接点出力7		
接見出し	जन्म	#t 2
パケット送信		
(秒)	TRUI	15

送信テスト画面へ

※対象接点出力がOFFからON動作時に送信されます。 ※MACアドレスの形式 00:00:00:00:00

#### <1>時間設定

1)時間設定の「時刻設定」をクリックします。時刻設定画面が表されます。

時刻設定画面	
時刻設定	
PCの時計による設定	
PCの時間を利用して時刻設定を行います。	
2015/11/11 20:51:14 適用 リセット	
時刻比較	
PC時間 2015/11/11 205035 内部時間 2015/11/11 20:45:31	

PCの時刻による設定 「適用」をクリックすると接続されたPCの時刻に設定されます。 ★正確な時刻にするために「通信設定-ネットワーク設定」でNTPサーバーを指定してく ださい。

#### <2> 機器設定

機器に関する設定をします。

#### 機器設定

機器名称: 機器名称を設定します。 全角10文字,半角英数字20文字以内 設置場所: 設置場所を設定します。 全角31文字,半角英数字63文字以内

#### <3> 接点出力設定

接点出力に関する設定をします。

接点出力名称1-8	: 接点出力名称を設定します。
	全角10文字,半角英数字20文字以内
ON遅延※1~※3	: ※1:全接点ON命令時(MSON, MSSET)
	※2:本装置電源投入時
	(1,2は-1~3600の値)
	※3:スケジュールによるON操作
	(3は0~3600の値)
動作モード	: レベル,パルス
	パルスの場合、出力パルスの幅
	(単位:×10msec)を設定できます。

#### <4> 接点入力設定

接点入力に関する設定をします。

接点入力名称1-8	:	接点入力名称を設定します。
		全角10文字,半角英数字20文字以内
動作モード	:	接点入力の極性→「順極性」(HでON)
		「逆極性」(LでON)
		「レベル」「パルス」を選択
		→「パルス」の場合は
		入力パルスの幅(単位:msec)を設定できます。
連動接点制御	:	SONn, SOFn, SSRn (n=1~8)
コマンド1~8		MSON, MSOF,
		$MSON_mmmmmmmm$ (m=1 or 0)
		MSOF_mmmmmmmm
		MSSET _ mmmmmmmm (」はスペースを表す)
Short	:	接点入力が短絡
Open	:	接点入力が開放

#### 接点入力 (デフォルト:「レベル」)

接点入力信号が入力された時,連動接点制御コマンドを実行します。(接点が1秒[デフォルト]以上短絡,又は開放された場合を入力と判断します。)

「パルス」モード

状態表示は、パルスが入力されるごとに [ON] → [OFF] → [ON] → [OFF] →……と変 化します。(トグル動作)



入力パルスの幅(変数:nvlnPulseWidth。ミリ秒単位で変更可能。)はWEB画面で変 更可能です。WEB画面での入力可能値は45~999[ミリ秒]です。

パルスの間隔の幅はデフォルトでは1秒となっています。別の値を指定したいときは TELNETで変数nvlnPulseIntervalによって指定することが可能です。(秒単位で)

#### <5>WakeOnLAN設定

WakeOnLANに関する設定をします。

接点出力1~8 MACアドレス	デフォルト	:	00:00:00:00:00:00
パケット送信回数	デフォルト	:	2 (0)
パケット送信間隔(秒)	デフォルト	:	15

- \* パケット送信回数は仮想アウトレットと共用です。
- \* パケット送信間隔は仮想アウトレットと共用です。
- \* 接点がONした時、マジックパケットを送出します。

WakeOnLAN機能について

WakeOnLAN対応の機器にMAGIC PACKETを送信し、ブートアップさせることができます。

- 2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。
- 3)「送信テスト画面へ」をクリックし、送信テスト画面を表示させWakeOnLAN送信テストの各 接点出力の「送信」をクリックすると設定されている「MACアドレス」のMAGIC PACKET を送信します。

送信テスト画面

送信テスト	
Wake On LAN 送信テスト           接点出力1           接点出力2           接点出力3           接点出力4           接点出力6           接点出力7           接点出力7	送信 送信 送信 送信 送信 送信
を点エフ/8 メール送信テスト テストメール送信 [エラーメッセージ確認]	

注意 本体起動時の接点出力はスケジュール設定に従います。スケジュール設定 がない場合は本体電源断時の状態に戻します。 「適用」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。設 定によっては、「CPUリセット」ボタンをクリックしないと設定した内容 が有効になりません。

### [2] 詳細設定

本装置の外部接続,仮想アウトレット及びリモートスイッチ(本装置前面SWボタン)に関する設定をします。

基本設定項目の「詳細設定」をクリックします。詳細設定画面が表示されます。

詳細設定画面	
詳細設定	l l
基本設定 詳細設定 セキュリティ設定	
外部接続設定	
シャットダウン ス別プト設定	
建動設定 接点情報延長設定	
※特殊記号は利用できません。	
仮想アウトレット設定 [Wake On LAN]	
No. 仮想アウトレット名称 MACアトレス ON遅延	
※MACアドレスの形式 00.00.00.00.00	
バケット送信回数 2 💿	
バケット送信間隔 15 秒	

美行コイノト2	SOF2	
実行コマンド3	SOF3	
実行コマンド4	SOF4	
実行コマンド5	SOF1	
実行コマンド6	SOF2	
実行コマンド7	SOF3	
実行コマンド8	SOF4	
1から2のコマンド送信間隔	1	秒
2から3のコマンド送信間隔	1	秒
3から4のコマンド送信間隔	1	秒
4から5のコマンド送信間隔	0	秒
5から6のコマンド送信間隔	256	秒
6から7のコマンド送信間隔	256	秒
7から8のコマンド送信間隔	256	秒
送信後待機時間	10	秒

<1> 外部接続設定

外部接続に関する設定をします。

- <1>1 シャットダウンスクリプト設定 本装置にシャットダウンスクリプトに関する設定をします。
  - 1)「スクリプト設定」をクリックします。スクリプト設定画面が表示されます。

① スクリプト設定(接点出力)

スクリプト実行	:	「無効」「有効」
スクリプト番号	:	O (デフォルト)
Pアドレス	:	1(Windows用設定が登録済) 《シャットダウンしたいPCのIPアドレスを設定 します。》
Port番号	:	O (デフォルト)
ログインID	:	《半角英数字8文字以内》
パスワード	:	《半角英数字16文字以内》
PING実行先	:	
PING間隔	:	O(デフォルト)
PING回数	:	O(デフォルト)
PING限度	:	O (デフォルト)
メッセージ		

2)シャットダウンスクリプトを設定する接点出力Noをクリックし、選択します。 「スクリプト登録」をクリックします。スクリプト設定画面が表示されます。

スクリプト設定画面

	スクリプトの指定がありません。		
	スクリプト説明		
スクリプト ファイル指	定		
1. 表示		参照	読込
2. 表示		参照	読込
3. 表示		参照	読込
4. 表示		参照	読込
5. 表示		参照	読込
6. 表示		参照	読込
7. 表示		参照	読込
8. 表示		参照	読込

用意しておいたスクリプトファイルを「参照」→「読込」することができます。

「スクリプトエラー時の終了コードによる接点OFF」 終了コードがこの値を超えていたら、接点をオフしません。 「0」なら、終了コードが0のときだけオフにします。 「255」なら、どんなときにもオフにします。

「スクリプト説明」をクリックするとスクリプト説明画面が表示されます。

詳細は「第9章 シャットダウンスクリプト」をご参照ください

### <1≻2 接点情報延長設定

本装置に接点情報延長設定に関する設定をします。 詳細は「第11章 接点情報延長機能」をご覧ください。

本装置は1対n接続(親機1台,子機 最大8台)の構成でネットワークを介して接続すること により,接続された装置の遠隔操作や連動制御を行なうことが可能です。

1)「接点情報延長設定」をクリックします。接点情報延長設定画面が表示されます。

接点情報延長	設定
基本設定 詳細設定	セキュリティ設定
機能 親機ポート番号 0	○有効
親機設定 (DIPスイッチ 全OFF)	
松谷	I
1733 用と フィ地にのフレントフィ	
子機IPアトレス2	
子機IPアドレス3	
子機IPアドレス4	
子機IPアドレス5	
子機IPアドレス6	
子機IPアドレス7	
子機IPアドレス8	
	○ 右动 ◎ 無効
三球ノアレス改定	
<b>运隔按点入刀</b> 状態変化唯正回数	5 E X20ms
したしていた。 がたいので、 とので、 していたい。 していたいたい。 していたい。 していたい。 していたい。 していたい。 していたい。 していたい。 していたい。 していたいで、 していたいで、 していたい。 していたい。 していたい。 していたい。 していたい。 していたい。 していたい。 していたいで、 していたいで、 していたいたいで、 していたいで、 しい	○有効 ◎無効
1 Watthe (DIPATS) NO.2000/01/	
親機側IPアドレス	
無通信監視時間	1440 分
エラーコート	0 (正常)
遠隔接点入力 お能変化通知マスク	1
遠隔接点出力	12345678
状態変更許可フラグ	$\bigtriangledown \lor \lor \lor \lor \lor \lor \lor$
遠隔接点入力1名称	
遠隔接点入力2名称	
遠隔接点入力3名称	
遠隔接点入力4名称 第二章	
遠隔接点入力4名称 遠隔接点入力5名称	
遠隔接点入力4名称 遠隔接点入力5名称 遠隔接点入力6名称 意隔接点入力6名称	
遠隔接点入力4名称 遠隔接点入力5名称 遠隔接点入力6名称 遠隔接点入力7名称 遠隔接点入力7名称	
遠隔接点入力4名称 遠隔接点入力5名称 遠隔接点入力6名称 遠隔接点入力7名称 遠隔接点入力8名称 遠隔接点入力8名称	Bemote NV Output
遠隔接点入力4名称 遠隔接点入力5名称 遠隔接点入力6名称 遠隔接点入力7名称 遠隔接点入力8名称 遠隔接点出力1名称 遠隔接点出力1名称	Remote NV Output
遠隔接点入力4名称 遠隔接点入力5名称 遠隔接点入力6名称 遠隔接点入力7名称 遠隔接点入力8名称 遠隔接点出力1名称 遠隔接点出力1名称 遠隔接点出力2名称	Remote NV Output Remote NV Output
遠隔接点入力4名称 遠隔接点入力5名称 遠隔接点入力6名称 遠隔接点入力7名称 遠隔接点入力7名称 遠隔接点出力1名称 遠隔接点出力1名称 遠隔接点出力2名称 遠隔接点出力3名称 遠隔接点出力3名称	Remote NV Output Remote NV Output Remote NV Output Remote NV Output
遠隔接点入力4名称 遠隔接点入力5名称 遠隔接点入力6名称 遠隔接点入力7名称 遠隔接点入力7名称 遠隔接点出力1名称 遠隔接点出力1名称 遠隔接点出力2名称 遠隔接点出力3名称 遠隔接点出力3名称 遠隔接点出力5名称	Remote NV Output Remote NV Output Remote NV Output Remote NV Output Remote NV Output
遠隔接点入力4名称 遠隔接点入力5名称 遠隔接点入力6名称 遠隔接点入力7名称 遠隔接点入力7名称 遠隔接点出力1名称 遠隔接点出力1名称 遠隔接点出力2名称 遠隔接点出力3名称 遠隔接点出力3名称 遠隔接点出力5名称 遠隔接点出力5名称	Remote NV Output Remote NV Output Remote NV Output Remote NV Output Remote NV Output Remote NV Output Remote NV Output
遠隔接点入力4名称 遠隔接点入力5名称 遠隔接点入力6名称 遠隔接点入力7名称 遠隔接点出力1名称 遠隔接点出力1名称 遠隔接点出力2名称 遠隔接点出力3名称 遠隔接点出力3名称 遠隔接点出力3名称 遠隔接点出力5名称 遠隔接点出力5名称 遠隔接点出力5名称	Remote NV Output Remote NV Output
遠隔接点入力4名称 遠隔接点入力5名称 遠隔接点入力6名称 遠隔接点入力7名称 遠隔接点入力8名称 遠隔接点出力1名称 遠隔接点出力2名称 遠隔接点出力3名称 遠隔接点出力3名称 遠隔接点出力3名称 遠隔接点出力5名称 遠隔接点出力5名称 遠隔接点出力5名称 遠隔接点出力7名称 遠隔接点出力7名称	Remote NV Output Remote NV Output

親機/子機間通信 死活監視の有効化	keep-alive 💌		
親機/子機間通信 タイムアウト時間	60 秒		
親機/子機間通信 keep-aliveパケット送信間隔	20 秒		
親機/子機間通信 keep-aliveバケット再送信回数	3		
メール通知設定フラグ 遠隔接点入力	1 2 3 4 5 6 7 8		
メール通知設定フラグ 遠隔接点出力	1 2 3 4 5 6 7 8		
遠隔接点入力状態変化の種類別 メール通知可否設定	ALL 💌		
本機(※)接点入力状態変化の種類別 メール通知可否設定	ALL 💌		
※この設定は本機を単体で使用(接点情	報延長を無効時も有効です。		
通用 リセット			

① 親機子機共通設定

機能	:	「有効」「無効」
親機ポート番号	:	0(デフォルト)

本体DIPスイッチ:全OFF[親機モード]

② 親機設定

親機モード(DIPスイッチ 全OFF)とし	<i>τ</i> [	吏用する場合の設定です。
子機Pアドレス1~8	:	登録なし(デフォルト)
登録アドレス限定	:	有効,無効
遠隔接点入力状態変化確定回数	:	5回×20ms(デフォルト)
延長モードHTTP機能	:	有効,無効
<ol> <li>①「機能」:「有効」</li> <li>②「延長モードHTTP機能」:「無効」</li> <li>本体DDフィッチ: 今0EE「閉撃モード」</li> </ol>	1	CPU リセット 現機 WEBによる 提供在五司

※親機モードでもWEBによる操作を行いたい場合は「延長モードHTTP機能」を「有効」に してください。

操作不可

3 子機設定

子機モード(DIPスイッチ2のみON)	として	て使用する場合の設定です。
親機側Pアドレス	:	0(デフォルト)
無通信監視時間(分)	:	1440(分)(デフォルト)
エラーコード	:	親機との通信異常状態を表示します。
遠隔接点入力状態変化通知マスク	:	遠隔接点入力の変化通知を確認する/しない を遠隔接点入力ごとに設定します。 左側より接点1, 2,, 8 (1:確認する 0:確認しない)
遠隔接点出力状態変更許可フラグ	:	チェックした遠隔接点出力が「遠隔接点制御」 画面(4章4.[3])にて操作可能となります。 左側より接点1,2,,8

遠隔接点入力1-8名称	:	遠隔接点入力の名称を設定します。
		全角10文字,半角英数字20文字以内
遠隔接点出力1-8名称	:	遠隔接点出力の名称を設定します。
		全角10文字,半角英数字20文字以内
接点入出力連動許可	:	禁止,子機>親機,親機>子機,双方
		子機>親機:子機の接点入力状態に、親機の
		接点 <u>出力</u> 状態を運動させる ====================================
		税機2子機:税機の接点人力状態に,子機の 接点 <u>出力</u> 状態を連動させる
親機/子機間通信 死活監視の有効化	:	無効, keep-alive, 無通信タイマー
親機/子機間通信 タイムアウト時間	:	60秒(デフォルト)
親機/子機間通信	:	20秒(デフォルト)
keep-aliveパケット送信間隔		
親機/子機間通信	:	3回(デフォルト)
keep-aliveパケット再送信回数		
メール通知設定フラグ	:	遠隔接点入力の変化に連動してチェックした
遠隔接点人力		通知先メールアドレス(4草2(2)[1])にメー
		た側より通知先アドレス1. 2 8
メール通知設定フラグ	:	遠隔接点出力の変化に連動してチェックした
遠隔接点出力		通知先メールアドレス(4章2.(2)[1])にメー
		ル通知を行ないます。 左側上の通知生況ドレフ1 2 8
遠隔接点入力の状態変化の種類別	:	生則より通知元アドレス1, 2,, 8 無効、OFF、ON、All
メール通知可否設定		メール通知する/しないを設定します。
本機(※)接点入力の状態変化の種類別	:	無効, OFF, ON, ALL
メール通知可否設定		メール通知する/しないを設定します。
※ メール通知の設定については、4章	2.(2	)[4]も参照ください。
	11:0	

	「本機(※)接点入力の状態変化の種類別メール通知可否設定」で「OFF」「ON」
注意	「ALL」を設定した場合(接点入力に関するメール通知を受け取りたい場合),
	「通信設定-メール設定-通知先設定」の「接点IN」にもチェックを入れる必要
	があります。(第4章2.(2)[4]<2>参照)

### 注意 「親機/子機間通信 死活監視の有効化」の設定変更後にはCPUリセットが 必要です。
<2> 仮想アウトレット設定

仮想アウトレットに関する設定をします。

仮想アウトレット名称	: 仮想アウトレット名称を設定します。		
	全角1	0文字,半角英数字20文字以降	内
MACアドレス	デフォルト	: 00:00:00:00:00:00	
ON遅延(秒)	デフォルト	: O	
パケット送信回数(回)	デフォルト	: 2	
パケット送信間隔(秒)	デフォルト	: 15	

仮想アウトレット

仮想アウトレットとは、実際には存在しないアウトレットであり、関連付けされたMACア ドレスのマジックパケットを送出して、WakeOnLAN機能を実現させるためのものです。

#### <3> リ

> リモートスイッチ設定 リモートスイッチ(本装置前面SWボタン) 実行コマンド1-8	に関す :	「る設定をします。 SONn, SOFn, SSRn (n=1~8)
		MSON, MSOF
		$MSON_mmmmmmmm (m=1 \text{ or } O)$
		MSOF_mmmmmmmm
		MSSET_mmmmmmmm
		(」はスペースを表します)
1から2のコマンド送信間隔	:	1~3600(秒)
2から3のコマンド送信間隔	:	1~3600(秒)
3から4のコマンド送信間隔	:	1~3600(秒)
4から5のコマンド送信間隔	:	1~3600(秒)
5から6のコマンド送信間隔	:	1~3600 (秒)

6から7のコマンド送信間隔 : 1~3600(秒) : 1~3600(秒) 7から8のコマンド送信間隔 送信後待機時間 : 3~3600(秒)

デフォルト:10(秒)

リモートスイッチ(本装置前面SWボタン)

スイッチが3秒間押されると、設定したコマンドを、1から8までコマンド送信間隔ごとに実 行します。送信後待機時間が終了するまで次のスイッチ入力は無視します。

設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

计辛	「適用」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。
注思	
	リモートスイッチ (RP-SWOO1) は <u>ご利用いただけません</u> 。 <b>本装置前面</b>
	<b>のSWボタン</b> で操作してください。

本装置にセキュリティに関する設定をします。

- <1> ユーザーアカウント設定 (WEBおよび制御ユーティリティからのログイン時に有効)
  - 1)「セキュリティ設定」をクリックします。ユーザーアカウント設定画面が表示されます。 ユーザーアカウント設定画面

ユーザーアカウント設定       セキュリティ詳細設定       基本設定に戻る         ** 入力項目は半角英数のみ有数         1dent (システム情報の参照のみ)         No. ユーザーID       パスワード         1       6         2       7         3       7         4       9         5       10         No. ユーザーID パスワード         1       6         2       7         3       7         3       7         4       9         5       10         1       10         1       10         10       10         11       10         12       10         13       10         14       9         15       10         10       10         11       10         12       10         13       10         14       10         15       10         16       10         17       10         18       10         19       10         10       10         11       10         1	セキュリ	ティ設定
* 入力項目は半角英数のみお         1       <	ユーザーアカウント設定 セキュリラ	「ィ詳細設定」 基本設定に戻る
Ident (システム情報の参照のみ)         No. ユーザーID       パスワード         1       6         2       7         3       7         4       9         5       10         Control (システム情報参照と電源の制御のみ)         No. ユーザーID パスワード         1       10         2       7         3       10         South and		※ 入力項目は半角英数のみ有効
No.       ユーザーID       パスワード         1	Ident(システム <b>情報</b> の参照のみ)	
1       6         2       7         3       7         3       8         4       9         5       10         5       10         Control (ンステム情報参照と電源の制御のみ)         ベーザーID バスワード         1       6         2       7         3       10         4       9         5       10         5       10         6       10         3       10         4       9         5       10         10       10         Admin         No.       2-ザーID         3       10         3       10         3       10         3       10         3       10         3       10         3       10         1       10         1       10         3       10         3       10         3       10	No. ユーザーID パスワード	No. ユーザーID バスワード
2	1	6
3       8         4       9         5       10         5       10         10       10         Control (システム情報参照と電源の制御のみ)         No. ユーザーID       パスワード         1       6         2       7         3       8         4       9         5       10	2	7
4       9       10         5       10       10         Control (システム情報参照と電源の制御のみ)         №       ユーザーID       パスワード         1       6       10         2       7       10         3       8       10         4       9       10         5       10       10         0       10       10         3       10       10         4       10       10         5       10       10         5       10       10         Admin         2       10         2       10       10         3       10       10         4       10       10         4       10       10         3       10       10         1       10       10         1       10       10         1       10       10         1       10       10         1       10       10         1       10       10         1       10       10         1       10	3	8
5       10         Control (システム情報参照と電源の制御のみ)         №       ユーザーID       パスワード         1       6       1         2       7       1         3       8       1         4       9       1         5       10       10         No. ユーザーID         1       10         2       10       10         3       10       10         2       10       10         3       10       10	4	9
Control Cシステム情報参照と電源の制御のみ)         №       ユーザーID       パスワード         1       6       1         2       7       8         3       9       1         5       10       10         Admin       0       2-ザーID       パスワード         1       1       10       10         2       10       10       10         3       10       10       10         4       10       10       10         4       10       10       10         1       10       10       10         2       10       10       10         3       10       10       10	5	10
Control (システム情報参照と電源の制御のみ)         No. ユーザーID       パスワード         1       6         2       7         3       8         4       9         5       10         No. ユーザーID         Admin         No. ユーザーID       パスワード         1       10         2       10         3       10		_
No.       ユーザーID       バスワード         1	Control (システム情報参照と電源の	)制御のみ)
1       6         2       7         3       7         3       8         4       9         5       10         5       10         Admin         No. ユーザーID       バスワード         1       admin         2       5         3       5	No. ユーザーID パスワード	No. ユーザーID パスワード
2	1	6
3     8       4     9       5     10       10     10         Admin       No.     ユーザーID     パスワード       1     admin     ************************************	2	7
4 9 5 10 Admin No. ユーザーID パスワード No. ユーザーID パスワード 1 admin ・・・・・・ 4 2 5 5 5 5	3	8
5     10       Admin       No. ユーザーID パスワード       1 admin       2       3	4	9
Admin       No. ユーザーID パスワード       1 admin       2       3	5	10
Admin           No. ユーザーID         パスワード           1         admin           2	_	
No.     ユーザーID     パスワード       1     admin     ******       2	Admin	
1     admin     4	No. ユーザーID パスワード	No. ユーザーID パスワード
	1 admin •••••	4
	2	5
	3	
The second se		

ldent : 簡易情報表示と監視状態表示のみ(※ 最大10件登録)

- Control : 簡易情報表示と監視状態表示及び接点出力の制御のみ(※ 最大1登録)
- Admin
   : 全ての権限(※ 最大5件登録)

ユーザーID	:	最大半角英数字8文字	(重複不可)	(@は使用不可)
パスワード	:	最大半角英数字16文字	(重複可)	

2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意	TELNET用のパスワードについては「第5章 その他の設定」をご参照く
	ださい。

<2> セキュリティ詳細設定

1)「セキュリティ詳細設定」をクリックします。セキュリティ詳細設定画面が表示されます。

セキュリティ設定	
ユーザーアカウント設定 セキュリティ詳細語	安定基本設定に戻る
ログイン設定	
オートロジョン 無効	
IPフィルター設定	
IPフィルター機能	○有効 ⊙無効
アドレス1	192.168.10.0
アドレス2	
アドレス3	
アドレス4	
71/2,0	
アドレス8	
アドレス9	
アドレス10	
道用 リセッ	4

セキュリティ詳細設定画面

① ログイン設定

	無効			
オートログイン	. LAN	: Admin	WAN : Admin	
J-FU212 ·	· LAN	: Admin	WAN : Control	
	LAN	: Admin	WAN : Ident	
オートログインを有効にす	ると, ブラウ	げでのログ	イン時に「ユーザーID」	」「パスワード」
を省略して本機に接続でき	ます。			

② Pフィルター設定

IPフィルター機能	:	有効無効
アドレス	:	0.0.0.0 (デフォルト)
		(最大10アドレス)

登録するアドレスは、最後のビットを0にします。

アドレス1のデフォルト値 [192.168.10.0] ですと,

192.168.10.1~192.168.10.254からのみ接続可能となります。 (Oに設定した部分は、あらゆる数値をとれる、ということになります)

# なお、フィルターの範囲を「ある値から別の値まで」のように細かに設定するためには、IPフィルターのマスク設定を変更する必要があります。

変数名と設定方法は以下のとおりです。 IPフィルターアドレスの変数名 [ipFilterAddr] IPフィルターマスクの変数名 [ipFilterMask] IPフィルター機能はビット単位のマスク機能です。ですので2進法を使用して値の範囲を指定 することになります。

基本的にマスクを「255」にすると「<u>必ずその値でなければならない</u>」となり、 「<u>O</u>」にすると「その部分は<u>あらゆる数値</u>をとれる」となります。 ですので、ipFilterMask=<u>255,255,255,0</u> ipFilterAddr=192,168,10,<u>0</u>とすると、 「192,168,10,1~192,168,10,254」から接続可能になります。

#### 例1 「192.168.10.1~192.168.10.150」まで接続可能にしたい場合

まず「192.168.10.」の部分は「必ずその値であるべき」なのでマスクは「255.255.255.」 で始めます。最後の一枠に関して2進法を使って設定していきます。

「150」を2進法で表すと「10010110」となります。つまり、128+16+4+2です。【2 進法の「1」に注目しています。】

このとき「**128**」、「128+16=**144**」、「128+16+4=**148**」、「128+16+4+2=**150**」の4つを区切りとして考えます。

#### [ipFilterMask/L-/L]

2進法にして「0」→「0,1両方可」,「1」→「固定部分」とマスクをかける。

	x=0,1どちらでも 網掛け=固定	ipFilterMask 2進法	ipFilterAddr 2進法		ipFilterMask 1∩進法	ipFilterAddr 1∩∕≇t≠
1.107						
$ \sim \geq l$	UXXXXXXX		00000000	$\rightarrow$	128	0
<u>128</u> ~143	1000xxxx	11110000	10000000	$\rightarrow$	240	128
<b>144</b> ~147	100100xx	1111100	10010000	ţ	252	144
<b>148</b> ~149	1001010x	1111110	10010100	Ļ	254	148
150	10010110	11111111	10010110	Ļ	255	150

となるので、TELNETで次の変数を書き込みます。

#### 例2 「192.168.10.151~192.168.10.254」まで接続可能にしたい場合

これも最後の一枠だけ考えます。

「151」を2進法で表すと「10010111」となります。この数字から255を目指すので、今度は2進法の「0」に注目すると、あと「8+32+64」あれば255になります。(IPアドレスで255は使用しません。ただフィルターのマスクを考えるにあたっては便宜上255をイメージします)

このとき「**151**」,「151+8=**159**」,「151+8+32=**191**」,「151+8+32+64=**255**」 の4つで考えます。

2進法にして「0」→「0,1両方可」,「1」→「固定部分」とマスクをかける。						
	x=0,1どちらでも	ipFilterMask	ipFilterAddr		ipFilterMask	ipFilterAddr
	網掛け二固定	2進法	2進法		10進法	10進法
151	10010111	11111111	10010111	1	255	151
152~ <b>159</b>	10011xxx	11111000	10011000	$\uparrow$	248	152
160~ <b>191</b>	101xxxxx	11100000	10100000	$\uparrow$	224	160
192~255	11xxxxx	11000000	11000000	$\rightarrow$	192	192

となるので、TELNETで次の変数を書き込みます。

.ipFilterAddr=192.168.10[151],192.168.10[152],192.168.10[160],192.168.10[192]

この後「〉」の後に「write」を入力してEnterを押すことで設定が書き込まれます。

これで「192.168.10.151~192.168.10.254」だけが接続できるようになりました。

注意

「適用」をクリックしないと設定した内容が有効になりません。

# (2) 通信設定

本装置のネットワークに関する設定をします。

#### [1] 通信基本設定

1)「通信設定」をクリックします。通信基本設定画面が表示されます。

通信基本設定画面

通信基本設定				
通信設定通信詳細設定	SSH設定 メール設定			
ネットワーク設定	※ 入力項目は半角英数のみ有効			
IPアドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ DNSサーバーアドレス DHCP機能 NTPサーバー NTP更新間隔 HTTP機能 HTTPボート TELNET機能 TELNET機能 TELNET中継先 IP TELNET中継先 ボート リンク速度とDuplex ※ネットワーク設定はCPUJ	192.168.11.110 255.255.255.0			
関連項目 無通信タイマー(秒) WEB自動更新機能 WEB自動更新間隔(秒)	600 ○有効 ⊙無効 30			
ダイレクトWEBコマンド制御				
ダイレクトWEBコマンド 実行後の動作 接点出力表示制限 表示制限	<ul> <li>○有効 ④無効 [?]</li> <li> <sup>儒単</sup> ▼</li> <li>         1 2 3 4 5 6 7 8         </li> <li>         ダ ダ ダ ダ ダ ダ ダ ダ ダ ダ ダ ダ ダ ダ ダ</li></ul>			
道用				

① ネットワーク設定	
------------	--

デフォルト	:	192.168.10.1
デフォルト	:	255.255.255.0
デフォルト	:	<登録なし>
デフォルト	:	<登録なし>
	:	有効無効
デフォルト	:	<登録なし>
デフォルト	:	6(×10分)
		[1~9999の値]
	:	有効無効
デフォルト	:	80
	:	有効無効
デフォルト	:	23
デフォルト	:	<登録なし>
デフォルト	:	23
デフォルト	:	自動検知
	デフォルト デフォルト デフォルト デフォルト デフォルト デフォルト デフォルト デフォルト デフォルト デフォルト	<ul> <li>デフォルト</li> </ul>

注意 本装置は時計を内蔵していますが、開梱時には時刻ずれが生じていること が予想されます。NTPサーバーの設定を行ってからご使用ください。

2	関連項目		
	無通信タイマー	:	自動ログアウトまでの時間を設定します。
	WEB自動更新機能	:	有効、無効を設定します。
	WEB自動更新間隔	:	WEB自動更新間隔の時間を設定します。
3	ダイレクトWEBコマンド制御		
	ダイレクトWEBコマンド	:	有効,無効を設定します。
	実行後の動作	:	実行後の動作を設定します。
	指定アドレス	:	指定アドレスを設定します。
	接点出力表示制限	:	チェックした接点出力を表示します。
	表示制限	:	チェックした表示制限項目を表示します。
外音	のネットワークから接続するため,	Pア	ドレスを固定にしてルーターのNATやIPマスカレー

ド機能を利用する場合は、DHCPを無効にします。

2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 DHCP利用中,IPアドレスの取り直しが行われると本装置は自動的に CPURESETを行います。

# [2] 通信詳細設定

通信詳細に関する設定をします。

1)「通信詳細設定」をクリックします。通信詳細設定画面が表示されます。

#### 通信詳細設定画面

通信詳細設	定
通信設定 通信詳細設定	SSH設定 メール設定
	※ 入力項目は半角英数のみ有効
カスタマイズ設定	
ユーザーHTML	設定
SNMP基本設定	
SET GET設定 GETコミュニティ名 SETコミュニティ名 TRAPコミュニティ名 マネージャーTrap Authen Trap トラップIPアドレス1 トラップIPアドレス2 トラップIPアドレス3 トラップIPアドレス4 トラップIPアドレス5 トラップIPアドレス5 トラップIPアドレス7 トラップIPアドレス7	<ul> <li>有効 ●無効</li> <li>public</li> <li>public</li> <li>可効 ●無効</li> <li>有効 ●無効</li> <li>「一」</li> <li>「」」」」</li> </ul>
※ネットワーク設定はCPUリセッ	ト後に有効になります。

	状態通知万法	無効
1	IPアドレス	
	ポート	5000
、	IPアドレス	
	ポート	5000
	IPアドレス	
۱ —	ポート	5000
	IPアドレス	
4	ポート	5000
-	IPアドレス	
	ポート	5000
_	IPアドレス	
6	ボート	5000
	IPアドレス	
′ ⊢	ボート	5000
	IPアドレス	
8	ポート	5000
	送信間隔(秒)	300

## <1> ユーザーHTML設定

ユーザーHTML, SNMPに関する設定をします。

1) カスタマイズ設定, ユーザーHTMLの「設定」をクリックします。 ユーザーHTML設定画面 が表示されます。

ユーザーHTML設定画面

ユーザーHTML登録				
ユーザーHTML設定				
豆珠ノアイルはし				
参照 読込				
htmlファイルを指定してください。				
・1行は255文字まで ・最大サイズは3189バイトまで ・シフトJIS(Shift_JIS)のみ対応 ・html内で%を%%に書き換えてください。				
<ul> <li>機能 <ul> <li>有効 ○無効</li> <li>接続ホート</li> <li>8080</li> <li>自動更新間隔</li> <li>10 (秒)</li> <li>ボタン名称</li> <li>皮点ON</li> <li>ボタン名称</li> <li>皮のFF</li> <li>ボタンサイズ 横/縦</li> <li>W120 H60</li> <li>ユーザー拡張1</li> <li>(userHtmIFiel)</li> <li>ユーザー拡張3</li> <li>(userHtmIFiel)</li> <li>ユーザー拡張3</li> <li>(userHtmIFiel)</li> <li>ユーザー拡張3</li> <li>(userHtmIAddress)</li> <li>動作確認メッセージ</li> <li>9 SON 10.SOF</li> <li>9 10</li> <li>ビ</li> <li>大態自動更新</li> <li>10 (秒)</li> <li>10 (か)</li> <li>10 (小)</li> <li></li></ul></li></ul>				
※オートログイン機能を有効にする必要があります。 [設定]				

① ユーザーHTML設定

機能		: 有効 無効	
接続ポート	デフォルト	: 8080	
自動更新間隔	デフォルト	: 10(秒)	
ボタン名称 接点ON	デフォルト	: ON	
ボタン名称 接点OFF	デフォルト	: OFF	
	(名称→全)	角 最大9文字,半角 最大163	之字)
ボタンサイズ 縦/横	デフォルト	: W120 H60	
ユーザー拡張1 (userHtmlText)			
ユーザー拡張2(userHtmlFile)			

(最大8IPアドレス)

(名称→全角 最大31文字,半角 最大63文字)

動作確認メッセージ 状態自動更新

ユーザー拡張3(userHtmlAddress)

#### <2>SNMP基本設定

SETGET設定		: 有効 無効
GETコミュニティ名	デフォルト	: public
SETコミュニティ名	デフォルト	: public
TRAPコミュニティ名	デフォルト	: public
マネージャーTrap		: 有効 無効
AuthenTrap		: 有効 無効
トラップIPアドレス	デフォルト	: 255.255.255.255
		(最大8IPアドレス)

#### <3> 状態通知機能

状態通知方法		:	無効, SYSLOG, MPMP
通知先センターアドレス1-8	デフォルト	:	0.0.0
通知先センターポート1-8	デフォルト	:	5000
送信間隔(秒)	デフォルト	:	300

設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 「適用」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。設定によっては、「CPUリセット」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。

# [3] SSH設定

SSHサーバー機能の設定を行います。

1)「SSH設定」をクリックします。SSH設定設定画面が表示されます。

SSH設定設定画面				
SSH設定				
通信設定 通信詳細設定 S	SH設定メール設定			
SSH KEY表示				
sshPublicDsaKey	Key削除			
sshPublicKsaKey				
sshKnownHost1	✓ Key削除			
sshKnownHost2	Key削除			
sshKnownHost3	✓ Key削除			
sshKnownHost4	Key削除			
	×			
sshKnownHost5	Key削除			
sshKnownHost6	Key削除			
sshKnownHost7	Key削除			
sehKnownHost8	Kevälle			
Shirtiowiniosto				
	<u> </u>			
SSH設定				
SSHサーバー SSHサーバー ボート	○有効			
SSHサーバー無通信時間(分) SSHサーバー名	10 admin			
SSHサーバーバスワード	••••			
通用 リセッ	۲. In the second se			

#### <1>SSH KEY表示

	sshPublicDsaKey	:	SSH.DSA公開鍵を表示します。
	sshPublicRsaKey	:	SSH.RSA公開鍵を表示します。
	sshKnownHost1-8	:	SSHクライアントとして接続したときにサー バーから受け取ったキーを表示します。
<2> SS	H設定		
	SSHサーバー	:	サーバー機能の有効/無効を選択
			(デフォルト:無効)
	SSHサーバーのポート	:	SSHサーバーのポート番号を設定
			(デフォルト:22)
	SSHサーバー無通信時間(分)	:	SSHサーバーの無通信時間を設定
			(デフォルト:10分)
	SSHサーバー名	:	SSHサーバー名を設定
			(デフォルト:admin)
	SSHサーバーパスワード	:	SSHサーバーのパスワードを設定

- 2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。
- SSHサーバー機能を使うためにはDSAキーとRSAキーを作成する必要があります。 TELNET通信でログインした後、次のコマンドを実行します。 KEYGEN\_DSA KEYGEN\_RSA (\_はスペース) 作成中[.]が表示されます。作成には数分間必要です。CPUリセット後有効になります。

注意 SSHは、OPEN SSH 5.1p1を使用しています。

# [4] メール設定

制御や通知に使用するメールアドレスを設定します。

1) 「メール設定」 をクリックします。

メール設定				
通信設定 通信詳細設定 (	SSH設定 メール設定			
* メールサーバ設定	公式 入力項目は半角英数のみ有効			
ユーザー名 パスワード メールアドレス POP3サーバ名 SMTPサーバ名 自動ログアウト時間(分) メールチェック間隔(分) メールリトライ間隔(秒) POP3ポート SMTPポート	10       10       110       25			
SMTP認証 APOP利用 メール制御コマンド有効	<ul> <li>●無効 ○有効</li> <li>♥CRAM-MD5</li> <li>♥LOGIN ♥PLAIN</li> <li>●無効 ○有効</li> <li>無効 ♥[2]</li> </ul>			
メール制御許可アドレス 接点入力ON時のイベント内容 接点入力OFF時のイベント内容 接点出力ON時のイベント内容 接点出力OFF時のイベント内容	>通知先アドレスのみ ▼ ON OFF OFF			
【接点入力状態変化の種類) 送信メール 件名 送信メール 本文1行目 送信メール 本文2行目 送信メール 本文3行目 送信メール 本文4行目 送信メール 本文5行目 送信メール 本文5行目 送信メール 本文5行目 送信メール 本文5行目 送信メール 本文7行目 送信メール 本文8行目	<ul> <li>州メール通知設定 〕</li> <li>機器名称</li> <li>●</li> <li>日時又(は積算時間)</li> <li>設置場所</li> <li>●</li> <li>機器P7Fレス</li> <li>●</li> <li>MAC7Fレス</li> <li>●</li> <li>承示無し</li> <li>●</li> <li>表示無し</li> <li>●</li> <li>表示無し</li> <li>●</li> <li>表示無し</li> </ul>			
ユーザー任意1 ユーザー任意2 ユーザー任意3	¥r¥n			
No.     通知先アドレス       アドレス1	状活       株点       株点       M - Sw       Loe Over         0       0       0       0       0       0         0       0       0       0       0       0         0       0       0       0       0       0         0       0       0       0       0       0         0       0       0       0       0       0         0       0       0       0       0       0         0       0       0       0       0       0         0       0       0       0       0       0         0       0       0       0       0       0         0       0       0       0       0       0         0       0       0       0       0       0         0       0       0       0       0       0         0       0       0       0       0       0         0       0       0       0       0       0			
ログ送信カウント ロ	[送信テスト画面へ]			
	st the second			
<del>メールリーハーからのエラーメッセーン</del> エラーメッセージをネット検索すると解	9¥2 クリアロ 決策がわかる場合もあります			
	129F			

<1> メールサーバ設定	
ユーザー名、パスワード、メールアドレス	R, POPサーバー名, SMTPサーバー名は, プロバイダから
のメール資料に基づき設定します。	
自動ログアウト時間(分)	テフォルト : 10
メールチェック間隔(分)	デフォルト : 3
メールリトライ間隔(秒)	デフォルト : 10
(変数mailRetryCountで設定した回数法	皆します。デフォルト:3回)
POP3ポート	デフォルト : 110
SMTPポート	デフォルト : 25
SMTP認証	
	認証力式を選択します。
APOPAJH	
メール制御コマンド有効	: 無効, ログイン方式, パスワード方式より選択します。
	★「POPサーバー監視」(第4章2.(3)[2])を行うには 有効にしてください。
メール制御許可アドレス	:制限なし、通知先アドレスのみより選択します。
接点入力ON時のイベント内容	:
接点入力OFF時のイベント内容	メール通知内容に「イベント内容」を選択した
接点出力ON時のイベント内容	時の、それぞれのイベントに対する通知文を設定します。
接点出力OFF時のイベント内容	王用 10 又子,干用央数子20 又子以内 :
接点入力状態変化の種類別メール	: 接点入力の状態変化の種類に応じてメール
通知設定	通知をする/しないを設定します。
	(設定画面に移動します。)
送信メール件名	: 9点より選択(表示無し、機器名称、設置場所,
	機器Pアドレス、MACアドレス、イベント内容、ユーザー
	住息1~3)より進択しま9。
	•
	· 9点より選択(送信メール)件台と回項日) ·
	· .
	<u>·</u>
ユーザー任意1~3	任意のメール通知文を設定 - 今日40支京、米各共共会の支京以上
*詳細は6章2を参昭して下さい	王冉IUX子,十用央敛子ZUX子以内
シュー メールに関する設定	。 は正しく入力してください。存在しないサーバーなどを設
注意定し、メール通知を	多数行うようにすると通信に負荷がかかってしまいます。

#### <2> 通知先設定

通知先アドレス

通知するメールアドレスを設定します。 最大8件設定できます。

イベント : 死活, 接点N, 接点OUT, M-Sw

チェックしたイベントに連動してメールが送信されます。例えば、「死活」では死活監視が [異常]または[回復]に変化した時にメールを送信します。

※「死活」を選択した場合,接点入力の連動接点制御が動作したときにもメールが送信されます。

LogOver

設定した数だけログが更新されると通知先アドレスにログを送信します。

#### ログ送信カウント

(MAX:20)(Oの時は送信しません。)

「通知先設定」で「接点N」にチェックを入れた場合(接点入力に関するメール 通知を受け取りたい場合)、「基本設定-詳細設定-外部接続設定-接点情報延長設 定」の末尾にある「本機(※)接点入力の状態変化の種類別メール通知可否設定」 で「OFF」「ON」「ALL」を設定する必要があります。(第4章2.(1)[2]<1> 2参照)

<3>メールサーバーからのエラーメッセージ情報 メールに失敗したエラー情報を表示します。 クリアにチェックして「適用」をクリックすると消去できます。

- 2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。
- 3)「送信テスト画面へ」をクリックし、送信テスト画面を表示させテストメール送信の「送信」 をクリックすると設定されている通知先アドレスにテストメールを送信します。

送信テスト	
Wake On LAN 送信テスト	
接点出力1	送信
接点出力2	送信
接点出力3	送信
接点出力4	送信
接点出力5	送信
接点出力6	送信
接点出力7	送信
接点出力8	送信
メール送信テスト	
ニフトノール洋信	28.7
	达1言
[エラーメッセージ確認]	

送信テスト画面

注意 「適用」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。設定によっては、「CPUリセット」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。

メール送信のみの利用でPOP認証を行わない場合でも、ユーザー名、パス ワード、メールアドレスは必要です。

設定したメールアドレスのメールサーバー内のメールは、メールチェック 間隔でメールサーバー内のメールをチェックした後、削除されます。

# (3) 監視設定

本装置の監視に関する設定をします。

### [1] PING監視

- 1)「監視設定」をクリックします。PING監視設定画面が表示されます。
  - PING監視設定画面

監	視設定
PING監視	POPサーバー監視
接点出力1~4 設定	接点出力5~8 設定
□ 詳細設定	※入力項目は半角英数のみ有効
監視先 DG送信 無答 1 □ 10 10 1 ■ ■ 10 10	監視先     DG 送信 無答       1     □       3     動作       ■     ■
▲ 接点出力番号	▲ 接点出力番号
監視先 DG 送信 無答 1 □ 10 10 2 動作 無動作 ♥ ★ 接点出力番号	監視先     DG 送信 無答       1     □       4     動作       無動作     ●       ★ 接点出力番号
PING 送信間隔 (分)	1
・(監視先)に対してICMPを(PING 送信間隔)分毎に1 (送信)回数内に(無答)回数回、応答が無いと異常 異常と判断した監視先が(対象)数に達すると異常 )OGを手ょックする事により、Default Gateway(ルージ ・動作は、正常から異常になった場合のみです。異	個送信します と判証します。 と判定し(動作)を実行します。 孕満が監視対象にします。 帯から正常・回復になっても動作しません。
道用	1 [1427]

「詳細設定」にチェックし、「適用」をクリックします。PING監視詳細設定画面が表示されます。

PING監視詳細設定画面 監視設定 PING監視 POPサーバー監視 接点出力1~4 設定 接点出力5~8 設定 ٢ ☑ 詳細設定 ※ 入力項目は半角英数のみ有効 監視先 DG 送信 無答 対象 監視先 DG 送信 無答 対象 10 10 1 10 10 1 1 □ 動作 3 3 4 □ 動作 3 🔲 無動作 💌 🗌 無動作 💌 ▲ 接点出力番号 ▲ 接点出力番号 監視先 DG 送信 無答 対象 監視先 DG 送信 無答 対象 10 10 1 🖌 10 10 1 🖌 4 2 3 4 □ 動作 □ 動作 🔲 無動作 ⊻ 🔲 無動作 🚩 ▲ 接点出力番号 ▲ 接点出力番号 PING 送信間隔 (分) 1 ・監視先Xに対してICMPを(PING 逆信間隔)分毎に1個逆信します (送信)回動内に(無答)回動回、広答が無いと異常と判断します。 異常と判断した監視先が(対象)動に達すると異常と判定し(動作)を実行します。 ・DGをチェックする事により、Default Gateway(ルーク考が監視対象)にします。 ・動作は、正常から異常になった場合のみです。異常から正常・回復になっても動作しません。 適用 リセット

① 監視先: 監視するPアドレス又はドメイン名を設定します。

各接点出力に最大4ヶ所設定できます。(詳細設定のみ)

		•	1001001
14/11	PPPIX	-	19/10801
123		•	

例 ドメイン名 : www.meikyo.co.jp

- DG: チェックでデフォルトゲートウェイを監視先に指定します。
- ③ 送信: 判断するための送信する回数を設定します。
   1~100の整数
- ④ 無答: 送信回数内で異常と判断する無応答回数を設定します
   1~100の整数
- ⑤ 対象: 動作を実行させるための異常な監視先アドレスの数を設定します。 1~4(詳細設定のみ)
- ⑥ 動作: 動作を選択します。
  - 無動作: PING監視を行いません。ログのみ: ログに記録します。ON: 接点出力をONします。
  - OFF : 接点出力をOFFします。
- ⑦ PING送信間隔(分): ICMPエコー要求パケットの送信間隔を設定します。
   1~60の整数

2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

監視設定が有効な接点出力は接点出力番号の背景色が「青色」に変わります。 また、PING監視が正常な場合は監視番号の背景色が「青色」に変わり、異常が発生している場 合は「赤色」、回復中は「黄色」に変わります。

注意 「異常」中は、再度、条件が成立しても動作しません。また、正常に回復 した時に、「動作」の逆の動作は行いません。 PING監視の仕組みと動作

監視先アドレスに対して [PING送信間隔] で設定した間隔でICMPエコー要求パケットを1個送出し、応答を待ちます。

設定した[送信]回数内で設定した[無答]回数,無応答であるとその監視先を異常と判断します。 異常と判断された監視先が〔対象〕数に達すると、その接点出力の監視対象を異常と判定し、設定 した[動作]を実行します。



異常と判断した監視先が,対象数に達すると,接点出力の監視対象を異常と判定し動作します。 異常と判定した後,

監視先すべてから応答があると→「正常」と判定します。

一部の監視先から応答があり、異常と判断した監視先が対象数を下回ると→「回復中」 と判定します。

「正常」「回復中」になった後は、再び、同じ条件で監視を行います。

1)「POPサーバー監視」をクリックします、POPサーバー監視設定画面が表示されます。

POPサーバー監視設定画で	面
監視調	安定
PING監視	POPサーバー監視
接点出力1~4 設定	接点出力5~8 設定
● POP3サーバーが設	定されていません。
POPサーバー監視 接続障害回数 0 □ □ 動作 ※動作はPNA監視と共通 無動作 マ 後点出力番号	POPサーバー監視 接続障害回数 0 回 動作 ※数/#はPNS監視と共調 無動作 ♥ ▲ 接点出力番号
POPサーバー監視 接続障害回数 □ □ 3 動作 ※動作はPPu是職と共通 無動作 ✓ 後点出力番号	POPサーバー監視 接続障害回数 0 回 4 動作 ※動作はPPS監視と共通 無動作 ♥ ▲ 接点出力番号
現在のPOPサーバー設定     0       POPサーバー接続障害回数     0       メールチェック間隔(分)     3       適用	٩

① POPサーバー監視

接続障害回数	:	POPサ	ーバーを異常と判断する回数を設定します。
動作	:	無動作	:監視を行いません。
		ログのる	り:ログに記録します。
		ON	:ログに記録し、接点出力をONします。
		OFF	:ログに記録し、接点出力をOFFします。
動作はF	PINO	濫視と共	通の設定になります。

② 現在のPOPサーバー設定
 POPサーバー接続障害回数
 メールチェック間隔(分)
 POPサーバーのチェック間隔
 デフォルト 3分

2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 POPサーバー監視を行う場合はPOP3サーバーの設定が必要になります。そして「メール制御コマンド有効」(第4章2.(2)[4]<1>)を「有効」 にする必要があります。(「通知先設定」にメールアドレスを登録しなくて も構いません。「メール制御コマンド有効」が「有効」になっていることだ けが必要になります。)

POPサーバー監視とPING監視の両方を設定すると、いずれかが異常になった時点で動作を実行します。

(4) スケジュール設定

本装置のスケジュールに関する設定をします。

スケジュールは、一日のパターンを分単位で作成し、そのパターンを指定の曜日、月日に割り当て ることにより作成します。パターンは最大20個まで作成できますから、週中と週末のパターンを変 えたり、特定の日や、休日用のパターンを作成したりできます。

パターン作成では、一日のパターンを作成します。

カレンダー配置では、接点出力毎に、パターンをカレンダーに割り当てて作成します。 休日テーブル配置では、オリジナルの休日テーブルを作成します。(初期値は一般のカレンダー通り)

データファイル管理では、設定内容をファイル形式で保存できるようにします。



1)「スケジュール設定」をクリックします。

スケジュール設定画面

スケジュール設定
スケジュール編集
1日のスケジュールバターンを分単位で作成します。 パターン作成
年間カレンダーにバターンを配置してスケジュールを組み立てます カレンダー配置
休日カレンダーをテーブル設定します。 休日テーブル配置
スケジュール関連のデータファイルを管理します。 データファイル管理

- ① スケジュール編集
  - パターン作成 : 1日のスケジュールパターンを分単位で作成します。

カレンダー配置 : 年間カレンダーにパターンを配置してスケジュールを組み立 てます。

休日テーブル配置 : 休日カレンダーをテーブル設定します。

データファイル管理: スケジュール関連のデータファイルを管理します。

#### [1] パターン編集

1) スケジュール設定画面の「パターン作成」をクリックします。



保存先 A 🔽 適用保存 キャンセル

2) パターン読込より編集するパターンを選択し、「読込」ボタンをクリックします。 最大20パターン編集できます。

開始 ◎ 時 ◎ 分 ~ 終了 24 時 ◎ 分 ⊙ON OOFF パターン配置

パターン編集

パター	ーング	2	全OFI	F		:	全てをOFFパターンにします。
			全ON			:	全てをONパターンにします。
時間擔	諚					:	開始から終了時間をON, OFFでパターン配置しま
開始	時	分~	終了	時	分		ਰੋ.

更新

3) パターン編集終了後,保存先を選択し「適用保存」をクリックします。

[2] カレンダー配置

1)スケジュール設定画面の「カレンダー配置」をクリックします。

スケジュール設定									
人ケンュール配直先指定									
接点出力1 接点出力2 接点出力3 接点出力4									
スケジュール設定         スケジュール設定         スケジュール設定         スケジュール設定           停止         停止         停止         停止         停止           アメショット         アメショット         アメショット         アメショット         アメショット									
豆抹飲()     豆抹飲()     豆抹飲()     豆抹飲()       実行     停止     実行     停止     実行									
接点出力5 接点出力6 接点出力7 接点出力8									
スケジュール設定         スケジュール設定         スケジュール設定         スケジュール設定           停止         停止         停止         停止									
登録数 0         登録数 0         登録数 0         登録数 0           実行         停止         実行         停止         実行         停止									
キャンセル									

- 2) カレンダー配置する接点出力の「スケジュール設定」をクリックします。
- カレンダー配置画面

スケジュール設定											
	ステラユールラスト [接点電力]]										
		20	15年	11日			,				
в	月	火	水	木	金	±	1				
1	2	3	4	5	6	7					
8	9	10	11	12	13	14					
15	16	17	18	19	20	21	バターン指定がありません				
22	23	24	25	26	27	28					
29	30										
<< 先月	1 翌/	月〉〉	2015 年	- 11 月	移動	1					
8 -	✔ 月	- 🗸	火 -	<u>▼</u> 7]	× - 💌	木-	· 🔹 金 - 💌 土 - 💌 道加				
毎月	E	3		- 🗸	〕追	ibo 🗌	<u>^</u>				
毎第	- 🗸	週日	✓I瞿	- 🗸	〕追	iba 📄					
毎年	11	∃ <u>11</u> E	3	- 🗸	追	加					
休日打	諚			- 🗸	這	ibo 🗌					
一度打 2015	記定 年 11 )	∃ <u>11</u> E	3	- 💌	<u>i</u>	bo )					
スケジュ	ュール耳	双り込み	1 🗸 (	読込			×				
通月	月保存		*	ャンセル			削除番号 - 🗸 🛛 削除				

- 年月設定
   年月を指定し配置するカレンダーを選択します。
- 2 曜日設定
   曜日毎にスケジュールパターンを配置し、スケジュールパターンを配置します。
- ③ 特定日設定
  - 毎月 日 : 毎月の特定日を設定日にスケジュールパターンを配置します。
  - 毎第 週 曜 : 毎月の特定週,曜日にスケジュールパターンを配置します。
  - 毎年月日:毎年の特定月日にスケジュールパターンを配置します。
  - 休日指定 : 毎年の休日にスケジュールパターンを配置します。
  - ー度指定 : 特定の年月日にスケジュールパターンを配置します。

- \* 右側の欄に「特定日設定」で配置した項目がリスト表示されます。
  - ④ スケジュール取り込み
     接点出力番号を選択し、「読み込み」をクリックすると選択した接点出力と同じスケジュー
     ルパターンを配置します。
- \* 読み込んだ後、適用保存をクリックするとカレンダーの表示が変わります。
  - ⑤ 適用保存「適用保存」をクリックし配置したカレンダーを保存します。
  - ⑥ スケジュールリスト削除 「削除番号」に特定日設定で設定したスケジュールリスト番号を選択し、「削除」をクリックし項目を削除できます。
  - 3) スケジュール配置先画面に戻りスケジュールの「実行ボタン」をクリックします。

注意 スケジュールの優先度は、一度指定 > 休日指定 > 毎年 > 毎第n週x曜 日 > 毎月 > 毎x曜日 となっています。 スケジュール設定が設定されるとカレンダーの日付数字の隣にスケジュ ールパターンの英文字が付きます。 またカレンダーの日付をクリックして指定するとその日のスケジュール パターンが表示されます。 週間スケジュール以外の特定日設定は20個までとなります。

年月日

[3] 休日テーブル設定

1)スケジュール設定画面の「休日テーブル配置」をクリックします。

#### 休日テーブル配置画面

	休日テーブル設定 更新									
休日カレンダー編集										
В										
1	2	3	4	5	6	7				
8	9	10	11	12	13	14				
15	16	17	18	19	20	21				
22	23	24	25	26	27	28				
29	30									
(〈、先月)	<<<先月 2015 年 11 月 移動									
休日指定 2015年11月 11 日 ○追加 ○削除 [〕 2015年 初期化										
	通用保存 キャンセル									

①年月設定

年月を指定し配置するカレンダーを選択します。

- 休日指定
   年月日を指定し、追加、削除を選択し「設置」をクリックします。
   (設定された日はピンク色の背景色に赤文字に変わります。)
- ③ 休日初期化「休日初期化」をクリックすると設定した休日が初期化されます。
- 2) 設定が終了しましたら「適用保存」をクリックします。

注意 「適用保存」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。 休日テーブルは設定によっては、「CPUリセット」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。

#### [4] データファイル管理

1) スケジュール設定画面の「データファイル管理」をクリックします。

#### データファイル管理画面

スケジュールデータファイル管理				
データファイルの保存/読込				
全スケジュール ファイル	schdata txt テキストファイル形式で表示します 表示			
 全バターン ファイル	参照          ・           ptndata.txt         テキストファイル形式で表示します            表示			
 全カレンダー ファイル				
ファイル保存は表示ボタンを押した後にブラウザの名前を付けて保存を行って保存してください。 ※ファイル名は固定です。変更しないでください				
キャンセル				

① ファイル保存/読込

「ファイル保存/読込」をクリックし、ファイルの保存/読込します。 保存方法

表示をクリックすると、別のブラウザが開き設定内容が表示されます。 ブラウザの機能を利用して、名前をつけて保存します。(テキストファイル) ファイル名は変更しないでください。

#### 読込方法

参照をクリックしてファイルを選びます。保存したファイルを選択します。 ファイル名が表示されたら読み込みをクリックします。

全スケジュールファイル	schdata.txt
全パターンファイル	ptndata.txt
全カレンダーファイル	caldata.txt

(休日カレンダー情報含む)

\* 読込んだ後、CPUリセットにより設定が反映されます。

2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 スケジュール機能で接点出力毎に「実行」に設定しないとスケジュールは 動作しません。 「適用」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。 [5] コマンドによるスケジュールデータファイル保存/読込

TELNET通信を介してコマンドによるスケジュールデータファイル保存、読込が出来ます。

- アップロードを中断 SCHUPLOADCANCEL(短縮形:SCHULC) リザルトコード 232:正常終了

注意 TELNET通信の接続は「第5章 その他の設定」を参照してください。

# (5) システム情報

本装置に設定された各項目の概要情報を一覧で確認できます。

#### 1)「システム情報」をクリックします。

## システム情報画面

<i>হ</i> চ	ステム情報	更新
システム基本		
機器名称 バージョン モデルタ	Noname 1.10A151109 SE10-947B1	
接点出力1名称 接点出力2名称 接点出力2名称 接点出力3名称 接点出力6名称 接点出力6名称 接点出力7名称 接点出力7名称 接点出力7名称 入力接点1名称 入力接点2名称 入力接点4名称 入力接点5名称 入力接点5名称 入力接点5名称 入力接点5名称	NV Output1 NV Output2 NV Output3 NV Output4 NV Output5 NV Output5 NV Output6 NV Output7 NV Output7 NV Input1 NV Input1 NV Input2 NV Input3 NV Input5 NV Input6 NV Input6 NV Input7	
仮想アウトレット1名称 仮想アウトレット1名称 仮想アウトレット2名称 仮想アウトレット4名称 仮想アウトレット5名称 仮想アウトレット5名称 仮想アウトレット5名称		
<ul> <li>機器内部時間</li> <li>MACアドレス</li> <li>IPアドレス</li> <li>ブブネットマスク</li> <li>デフォルトゲートウェイ</li> <li>NTPサーバーアドレス</li> <li>HTTP機能</li> <li>HTTP機能</li> <li>HTTP機能</li> <li>HTTPボート</li> <li>TELNET機能</li> <li>TELNETボート</li> <li>LAN接続速度</li> </ul>	2015/11/11 20:40:10 00:09:EE:00:09:99 192:168:11.110 255:255:255:0 (NG) 有効 80 有効 23 100.0Mbps	

# (6) PING送信

本装置からのPING送信の確認できます。

1)「PING送信」をクリックします。

#### PING送信画面

PING送信	更新
	1
1	
測定先アドレスを指定してください。	
PING WER	

- 1 「測定先アドレスを指定してください。」の欄に測定先アドレスを入力し、「PING確認」をクリックして下さい。
- ② 測定中は「測定中」の表示がされます。
- ③ 測定結果が表示されます。

  - 異常 :Request timed out. 応答が異常時
  - 異常 : Domain name not found. ドメイン名が存在しない

# (7) 簡易説明

本装置の簡易説明が確認できます。

1)「簡易説明」をクリックします。

簡易説明画面



メールorWEBコマンド制御 メールからの制御 ログイン方式 パスワード方式 WEBからダイレクトコマンド制御 WEBコマンドでの制御方法 利用可能コマンド

制御コマンド一覧表

オンラインヘルプ(外部に接続)

# 3. 状態表示項目

# (1) 簡易情報表示

現在の本装置の接点情報、接点入出力情報を表示します。

1)「簡易情報表示」をクリックします。

#### 簡易情報表示画面

		簡易情報表示	更新
接点b	出力情報		l i
No		1.4 台影	-
1	NV Output1		
2	NV Output2		
3	NV Output3		
4	NV Output4		
5	NV Output5		
6	NV Output6		
7	NV Output7		
8B	NV Output8		
接占入	力情報		
150,0007			
No.	名称	状態	
1	NV Input1		
2	NV Input2		
3	NV Input3		
4	NV Input4		
5	NV Input5		
6	NV Input6		
7	NV Input7		
8	NV Input8	0 F F	
機器情	報		
機器	名称 Noname		
接続日	ーザー情報		
ユーサ	F─_ID admin	Admin	
	192 168 11 3	00000	
<b>1</b> -1-2 L	132.100.11.3		

# 注意

簡易情報表示は現在の本装置の状態を表示する画面で実際に制御することは出来ません。

# (2) 監視状態表示

現在の本装置の監視状態を表示します。

#### 1)「監視状態表示」をクリックします。

## 監視状態表示画面

機器情報

POPサーバー接続障害回数

					監視状態	表示			
++++++ +									
按点 No.	R田刀監/ 電源	祝祝思 夏	፪╱ 判〕 <b>死活</b>	正余14 <b>判定</b>	実行数	送信数	無応答	対象数	2 動作
1	ON		Ē	常	0	10	10	1	無動作
2	ON		正常		0	10	10	1	無動作
3	ON		正常		0	10	10	1	無動作
4	ON		正常		0	10	10	1	無動作
5			Ē	常	0	10	10	1	無動作
6	ON		Ē	常	0	10	10	1	無動作
7	ON		正常		0	10	10	1	無動作
8_	ON		〕  正常		Û	10	10	1	無動作
<b>▲</b> ‡	<b>凌点出力</b>	 )番号			Ŭ		10	•	J AMBROIT
▲ 打 監初	後点出力 現先状態	 潘号 <b>視先1</b>		Ē	。 記 祝 先2	E	視先3		視先4
▲ 打 監初 No.	<ul> <li>金点出力</li> <li>見先状態</li> <li>監</li> <li>状態</li> </ul>	·····································	答数	監督	記視先2 「無応答数	L E L L L L L L L L L L L L L L L L L L	· 視先3 無応答数		視先4 無応答数
▲ 打 監視 No. 1	考点出力 現先状態 <b> 広告</b>	·番号 視先1 無応	答数	監状態	ā視先2 無応答数	型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型	視先3 無応答数	監状態	視先4 無応答数
▲ 打 監視 No. 1 2	接点出力 現先状態	·····································	答数	監	运視先2 無応答数	型 状態	視先3 無応答数	監状態	視先4 無応答数
▲ 打 監初 No. 1 2 3	麦点出力       現先状態       1       1       1	·····································	答数	監状態	。 視先2 無応答数	監 状態	視先3 無応答数	監	視先4 無応答数
▲ 打 監視 No. 1 2 3 4	後点出力 見先状態 <b>状態</b>	·····································	答数	監	信視先2 無応答数	L L L L L L L L L L L L L L L L L L L	視先3 無応答数	監	視先4 無応答数
▲ 打 監初 No. 1 2 3 4 5	送去出力	·····································	答数	監	<b>运視先2</b> 無応答数	女 状態	視先3 無応答数	【状態	視先4 無応答数
▲ 打 監初 No. 1 2 3 4 5 6 7	送去出力	·····································	答数	大態	ā視先2 無応答数	Land Land Land Land Land Land Land Land	視先3 無応答数	<u>監</u> 状態	視先4 無応答数
▲ 打 監初 No. 1 2 3 4 5 6 7 8	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 視先1 無応?	答数	大熊	<b>信視先2</b> 無応答数	女 状態	視先3 無応答数	【	<u>視先4</u> 無応答数

70

0

### ① 接点出力監視状態/判定条件

接点	:	接点の状態を表示します。
死活判定	:	PING監視およびPOPサーバー監視の判定結果を表示します。 正常:異常な監視先が対象数未満、かつPOPサーバー正常。 異常:異常な監視先が対象数以上、あるいはPOPサーバー異常。 回復中:動作後、異常な監視先が対象数未満だが、異常な 監視先が残っている。POPサーバーは正常。
実行数	:	PING監視とPOPサーバー監視の実行された動作の回数を表示します。
送信数	:	PING監視のICMPエコー要求送信回数設定値を表示します。
無応答	:	PING監視の無応答回数設定値を表示します。
対象数	:	PING監視の対象数設定値を表示します。
動作	:	PING監視とPOPサーバー監視の動作を表示します。

2 監視先状態

状態	:	接点出力毎に各監視先の応答状態を表示します。
無応答数	:	ICMPエコー要求送信に対する無応答回数を表示します。

③ 機器情報

POPサーバー接続障害回数 : POPサーバーへの接続障害回数を 表示します。

# (3) イベントログ表示

現在までのイベントログ、温度センサーログを表示します。

# [1] イベントログ

1)「イベントログ表示」をクリックします。

イベントログ表示		更新
ログリスト		
26 2018/05/31 13:16:40 UIYログイン 192.168.1.161	admin	^
27 2018/05/31 13:16:40 UTYログインせず切断 192.168.1.161	admin	
28 2018/05/31 13:17:20 ウォームスタート		
29 2018/05/31 13:17:24 接点入力状態変化 #8 ON		
30 2018/05/31 13:17:28 UTY接続 192.168.1.161		
31 2018/05/31 13:17:28 UTYログイン 192.168.1.161	admin	
32 2018/05/31 13:17:28 UTYログインせず切断 192.168.1.161	admin	
33 2018/05/31 13:18:37 ウォームスタート		
34 2018/05/31 13:18:41 接点入力状態変化 #8 ON		
35 2018/05/31 13:18:43 WEBアクセス 192.168.1.167		
36 2018/05/31 13:18:45 WEBログアウト 192.168.1.167 52 2016/05/31 13:20:45 WFEログアウト 192.168.1.167	aunni	
63 2018/05/31 14:39:17 ウォームスタート		
64 2018/05/31 14:39:21 接点入力状態変化 #8 ON		
		.::
	2018/05/31	17:29:07
表示領域 1~64 (総数64)	20.0/00/01	
************************************	ヘロガカリマ	1
「リハーノ」 八ハーノ 二元頭ハーノ 東於ハーソ	エロワワリア	

2)「 更新 」を押すと最新状態に更新します。

前ページ	:	前ページを表示します。
次ページ	:	次ページを表示します。
先頭ページ	:	先頭ページを表示します。
最終ページ	:	最終ページを表示します。
全ログクリア	:	ログを消去します。

**注意** 1ページは100項目単位で表示します。最大10ページ,1000項目のロ グを表示可能です。
# 4. 接点制御

本装置に接続されたデバイスの接点制御をします。

## (1) 接点制御

1)「接点制御」をクリックします。

接点制御画面

		接点制御	更新
	接点制御	仮想アウトレット制御 遠隔接点制御	
接点制	川御情報		
No	接点制御名称	制御   接点	
1	NV Output1	接点ON 接点OFF	1
2	NV Output2	接点ON 接点OFF	í
3	NV Output3	接点ON 接点OFF	í
4	NV Output4	接点ON 接点OFF	í
5	NV Output5	接点ON 接点OFF	i
6	NV Output6		j
7	NV Output7	接点ON 接点OFF	j
8B	NV Output8	接点ON 接点OFF	j
	全接点制御	12345678 11111111 接点N 接点OFF 接点該定 1=勤 0=無	
接点入	した情報		
No.	ND ( Innert 1	名称	i i
	NV Inputi		) J
2	NV Input2		) J
0	NV Inputo		) J
4	NV Input4		) J
- J 6-	NV Input6		J
7	NV Input7		) J
, ,	NV Input9		) )
×	NV IIIputo	UF F	J
	機器情報		
	機器名称	Noname	

接点出力情報

- (1) 接点制御名称
   各接点出力の名称を表します。
- 2 動作

接点ON	:	接点出力を	開始します。
接点OFF	:	接点出力を	停止します。
接点8は、B接点で	্রু ০	N動作でOFF,	OFF動作でONの結果となります。

③ 接点

現在の接点の状態を表します。
(更新されないと最新の状態が表示されません。)

④ 全接点制御

接点ON	:	指定された接点の出力を一括で開始します。
		左側より接点1,2,,8(1=ON O=無動作)
接点OFF	:	指定された接点の出力を一括で停止します。
		左側より接点1,2,,8(1=OFF O=無動作)
接点設定	:	指定された接点の出力を一括で設定します。
		左側より接点1,2,,8(1=ON 0=OFF)
接点8は、B接点です。	ON	動作でOFF、OFF動作でONの結果となります。

- 接点入力情報
- 名称
   各接点入力の名称を表します。
- ② 接点
   現在の接点の状態を表します。
   (更新されないと最新の状態が表示されません。)
- 2) 「更新」をクリックすると最新の接点状態を取得します。

### (2) 仮想アウトレット制御

1)「仮想アウトレット制御」をクリックします。

仮想アウトレット制御画面 仮想アウトレット制御 更新 接点制御 仮想アウトレット制御 遠隔接点制御 仮想アウトレット情報 仮想アウトレット名称 電源制御 No.
1
2
3
4
5
6
7 電源ON 電源ON 電源ON 電源ON 電源ON 電源ON 電源ON 8 電源ON 全仮想アウトレット 電源ON 機器情報 機器名称 Noname

仮想アウトレット

仮想アウトレットとは、実際には存在しないアウトレットであり、関連付けされたMACアドレスのマジックパケットを送出して、WakeOnLAN機能を実現させるためのものです。

- 個別仮想アウトレット制御の動作
   電源ON : マジックパケットを送出します。
- ② 全仮想アウトレット制御の動作
   電源ON : 全仮想アウトレットへマジックパケットを送出します。

# (3) 遠隔接点制御

#### 1)「遠隔接点制御OUT」をクリックします。

### 遠隔接点制御OUT画面

	遠隔接点制	御	更新
	接点制御     仮想アウトレ	ット制御 遠隔接点制御OUT	
遠隔接点			
No.	名称	制御接点	
1	Remote NV Output 1	接点ON 接点OFF OFF	
2	Remote NV Output 2	接点ON 接点OFF OFF	
3	Remote NV Output 3	接点ON 接点OFF OFF	
4	Remote NV Output 4	接点ON 接点OFF OFF	
5	Remote NV Output 5	接点ON 接点OFF OFF	
6	Remote NV Output 6	接点ON 接点OFF OFF	
7	Remote NV Output 7	接点ON 接点OFF OFF	
8B	Remote NV Output 8	接点ON 接点OFF OFF	
遠隔接点	认力情報 		
1	L10,	OFF	
2		OFF	
3		OFF	
4		OFF	
5		OFF	
6		OFF	
7		OFF	
8		OFF	
	機器情報		
	機器名称Nona	me	

遠隔接点出力情報

- (1) 接点制御名称
   各接点出力の名称を表します。
- 2 動作

接点ON:接点出力を開始します。接点OFF:接点出力を停止します。接点8は、B接点です。ON動作でOFF、OFF動作でONの結果となります。

③ 接点
 現在の接点の状態を表します。
 (更新されないと最新の状態が表示されません。)

遠隔接点入力情報

- 名称
   各接点入力の名称を表します。
- ② 接点
   現在の接点の状態を表します。
   (更新されないと最新の状態が表示されません。)
- 2) 「更新」をクリックすると最新の接点状態を取得します。

注意 本装置は 1対n接続 (親機1台,子機 最大8台)の構成でネットワーク を介して接続することにより,接続された装置の遠隔操作や連動制御を行 なうことが可能です。 詳細は第11章をご覧ください。

# 5. CPUリセット

本装置の設定変更を有効にします。

1)「CPUリセット」をクリックします。

CPUリセット画面

CPUリセット
CPUリセットを行うと通信設定で行った変更が有効になります。
CPUJZ21

2) CPUリセット画面の「CPUリセット」をクリックします。

注意

「CPUリセット」をクリックすると設定した内容が有効になります。なお、 「CPUリセット」ボタンをクリックすると通信が切断されますが、接点の 状態は現状のまま保持されます。

第5章 その他の設定

# 1. TELNETによる設定

1) RPCサーチソフトで検索した機器を選択し、「TELNET接続」ボタンをクリックする。または 「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを開きます。「初 期設定」で設定したPPドレスを以下のように指定し、本装置にアクセスします。

192.168.10.1の場合 IPアドレス TELNETポート番号

: 192.168.10.1 : 23

「telnet\_192.168.10.1\_23」 ※\_はスペースを表します。

2) プログラムが起動し、下図のとおり表示されます。 「Noname」は機器名称の設定が反映されます。

220 SE10-8A7B1 (Noname) server ready

- 3)任意のキーを入力します。パスワードが要求されます。
- 4) パスワード(デフォルト:magic)を入力し、<Enter>キーで実行します。「OK」の応答がありま す。

注意 ブラウザ接続時のパスワードとTELNET接続時のパスワードは別になり ます。PASSコマンドで変更してください。デフォルトのままですとセキ ュリティホールになる危険があります。

## (1) TELNETコマンドによる設定

- 1) RPCサーチソフトを起動し、「検索」ボタンをクリック検索した機器を選択し、「TELNET接続」 ボタンをクリックする。または「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキ ストボックスを開きます。「初期設定」で設定したIPアドレスを指定し、TELNETで本装置にロ グインします。
- 2) 設定します。コマンドや変数などを入力しくEnter>キーで実行します。 (Pアドレスなど一部の設定はCPUリセット後に反映されます。)

■ TELNET通信の設定関係コマンド

コマンド	内容
?変数名	変数の表示
LIST	全ての変数の値を表示
. 変数名=値	変数を設定し、設定された変数を表示
WRITE	変数の設定をFROMに書き込みます。
&SAVE	設定された変数の待避・復元ができるデータを出力します。
CPURESET	CPUをリセットします。(接点状態は変化しません。)
LOAD_BEGIN	設定データの読み込みを始めます。
LOAD_END	設定データの読み込みを終了します。
LOGCLEAR	ログのクリア

※変数については「■変数一覧表」参照

■ 「&SAVE」コマンドについて

環境(変数全体)を一括して待避・復元するためのコマンドです。

「&SAVE」を実行すると、最初に「LOAD\_BEGIN」、それに続いて一連の変数設定コマンド、最後に「LOAD\_END」をテキストデータとして出力します。このテキストデータを設定データとして保存し、のちに送信しますと、保存した設定になります。TELNET用のパスワードなど、いくつかの変数は保存されませんのでご注意ください。設定データをテキストエディタで変更して利用することもできます。なお、「&SAVE」には、エコーバックがありません。変数設定コマンドでは、エラーがあっても無くても表示しません。長いコマンドは分割されます。(最後にハイフンがあると、次に継続することを意味します。)ファイルからのコマンドを実行するときは、「promptMode」をOまたは1とします。

#### ■ プロンプトやコマンドについて

TELNETからアクセスしたときは、コマンド入力のプロンプトが表示されます。プロンプト表示の有無または表示形式は、コマンドで指定します。制御ユーティリティでは、常に「>」のプロンプトが表示されます。また、「?」だけのコマンドにより、ヘルプとしてコマンドの一覧を表示します。どのコマンドでも最初に「&」をつけることによりエコーバックが無くなります。設定の取得、書き込みのときは、「promptMode」をOまたは1とします。

変数名

値

: promptMode

- : 0 (プロンプト表示無し)
  - : 1(「>」のプロンプト表示)
  - : 2(「機器名>」のプロンプト表示)
- SSH通信からの設定について TELNETと同じようにSSH通信からも設定を行うことができます。

注意 設定変更後は、必ず「write」コマンドを実行してください。 コマンドがないと設定が反映されません。また項目によりCPUリセット 後に設定が反映されます。 設定は「CPURESET」コマンドまたは本体RESETボタン押下後に反映 されます。

第6章 その他の制御

# 1. TELNET接続による制御

本装置はTELNETサーバプログラムへ接続して、遠隔から接点制御および状態取得ができます。セキュリティ制御の設定がされている場合はその制限内での操作となります。(SSH通信でも同じことが行えます。)

### (1) TELNET接続による制御

1) RPCサーチソフトで検索した機器を選択し、「TELNET接続」ボタンをクリックする。または「ス タート」から「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを開きます。「初期設定」 で設定したIPアドレスを以下のように指定し、TELNETで本装置にログインします。

192.168.10.1の場合 IPアドレス TELNETポート番号

: 192.168.10.1 : 23

「telnet\_192.168.10.1\_23」 ※\_はスペースを表します。

2) プログラムが起動し、下図のとおり表示されます。 「Noname」は機器名称の設定が反映されます。

220 SE10-8A7B1 (Noname) server ready

3) 任意のキーを入力します。パスワードが要求されます。

4) パスワード(デフォルト:magic)を入力し、<Enter>キーで実行します。「OK」の応答があります。

5)制御コマンドを入力して、くEnter>キーで実行します。

## 注意 TELNETによりログイン中にも、他のTELNETからログインすることが できます。LOGコマンドで履歴を確認するなどして操作が重ならないよ うご注意ください。

制御コマンドー覧表

コマンド	内	容	
SONn	指定された接点の出	:力開始 n=1~8	
SOFn	指定された接点の出	功停止 n=1~8	
SSRn	指定された接点の状	態反転 n=1~8	
MSON	全接点の出力開始		
MSOF	全接点の出力停止		
	接点出力の出力開始	3 (接点指定)	
	m: 左側から接	点1~8 (1:ON,0: 無動作)	
	接点出力の出力停止		
	m: 左側から接	点1~8 (1: OFF, 0: 無動作)	
MSSET_mmmmmmmm	接点出力状態の設定	a 	
(」はスペースを表します)	m: 左側から接	点1~8 (1:ON, 0:OFF)	
	全接点の状態取得		
POS	応答:mmmmm	immm 左側から接点1~8	
	m=0∶0	FF 1:ON	
	全接点の状態詳細の	)取得	
	応答:ABXXXX	, ABXXXX, ABXXXX, ABXXXX, ABXXXX,	
	ABXXXX,		
XPOS	ABXXX	(X, ABXXXX	
	<b>左側から</b>	5接点1~8	
	A=0 : C	OFF 1:0N	
	B=O:OFF遅延中 1:ON遅延中		
	XXXX=Bのタイマー残り時間		
	死活監視状態の表示	₹ n=1~8	
	<u>nを省略すると</u>	こ全ての接点を表示します。	
	コンマ区切りで表示	¯ <sub>ν</sub>	
	ContactNo.	接点番号[1~8]	
	Contact	接占伏熊「O:Off 1: On]	
	Output		
	Judge	判定[1:正常 2:異常 3:回復中」	
	Action Count	Action実行回数	
	Last Ping1	アドレス1の最後の応答[1:正常 2:異常]	
	NoEchoCount1	アドレス1の未応答回数	
OLS[n]	NoEchoTime1	アドレス1の応答時間 (ms)	
		[O:未設定 1:応答時間 9999:未応答]	
	Last Ping2	アドレス2の最後の応答[1:正常 2:異常]	
	NoEchoCount2	アドレス2の未応答回数	
	NoEchoTime2	アドレス2の応答時間(ms)	
		[O:未設定 1:応答時間 9999:未応答]	
	Last Ping3	アドレス3の最後の応答[1:正常 2:異常]	
	NoEchoCount3	アドレス3の未応答回数	
	NoEchoTime3	アドレス3の応答時間(ms)	
		[0:未設定 1:応答時間 9999:未応答]	
	Last Ping4	アドレス4の最後の応答[1:正常 2:異常]	
	NoEchoCount4	アドレス4の未応答回数	

	NoEchoTime4 アドレス4の応答時間 (ms)			
	[0:未設定 1:応答時間 9999:未応答]			
VER	バージョンの表示			
CPURESET	CPUをリセットします。(接点状態は変化しません。)			
	接点出力の状態を取得			
SSOn	nを省略すると全ての接点を表示します。			
	例)SSO2 NV_OUT #2:0PENED			
	接点入力の状態を取得			
SSIn	nを省略すると全ての接点を表示します。			
	例)SSI2 NV_IN #2:OPENED			
	年月日設定			
DATE (yy/mm/aa)	例) DATE yy/mm/dd yy:年 mm:月 dd:日			
TIME [bb'mm'cc]	現在時刻設定(秒は省略可)			
	例)TIME hhimmiss hh:時 mm:分 ss:秒			
PING addr	ICMPを4回送信します。			
	例) PING [IPアドレス]			
	0(プロンプト表示無し)			
	1(「>」のプロンプト表示)			
	2(「機器名 >」のプロンプト表示 )			
	*変数「promptMode」により接続直後のモードが決まります。			
	変数「ipAdTelnetT」のアドレス、変数「remoteTelnetPortT」のポー			
	トにTELNETクライアントとして接続します。			
	DiscCharに設定した文字を入力すると切断終了する。			
	ー度に受信するデータは、概ね40Kバイト以下でご利用ください。			
DASS	パスワードの変更 新しんパスワードを2回入力します。			
	※入力を失敗すると変更されません。			
EXIT	回線切断 最初の文字がE, e, Q, qの場合はEXITと認識します。			

※「XPOS」「VER」「PASS」などいくつかのコマンドはログイン時のみ有効です。

応答コマンド

正常受付

: Command OK

不正なコマンド

: Unrecognized command

前コマンドの処理中のためコマン : Last command is pending. Command failed.

ド実行せず

接点出力8は、B接点です。ON動作でOFF動作の、OFF動作でON動作 注意 の結果が生じます。

# 2. メールからの制御

メールを利用して接点制御ができます。

メールからのコマンドを利用するには、通信設定ならびにメール設定を正しく行う必要があります。 メールからのコマンドには、ログイン方式とパスワード方式があります。また、メール制御許可ア ドレスが通知先アドレスのみの場合は、通知先として登録したメールアドレスからの制御のみが有 効となります。

## (1) ログイン方式

- 本装置にメールを送信します。
   (ア)件名(タイトル)は特に必要ありません。
  - (イ)本文1行目に「login」と入力します。
- 2.数分後、本装置からメールが届きます。
   (ア)ログインのための数値が知らされます。
- 3. 再び、本装置にメールを送信します。
  - (ア)件名(タイトル)は特に必要ありません。
  - (イ)本文1行目に、ログインのための数値を記入します。
  - (ウ)本文2行目以降にコマンドを記入します。
    - ①コマンドを記入し改行を入れます。
    - ②コマンドの「LIST」と「&SAVE」は使えません。
    - ③「QUIT」コマンドでログアウトします。「Q」または「E」の1文字だけでもログアウトしま す。

④自動ログアウト時間を経過するとログアウトします。

- 4. 数分後,本装置から結果を知らせるメールが届きます。
- 5. ログイン中でも他のメールからのログインを受け付けます。

## (2) パスワード方式

- 1. 本装置にメールを送信します。
  - (ア)件名 (タイトル)は特に必要ありません。
  - (イ)本文1行目にパスワードを入力します。
  - (ウ) メールパスワードはWebブラウザの「メール設定」の「メール制御パスワード」で設定してください。
     本文2行目以降にコマンドを入力します。
     ①コマンドを記入し改行を入れます。
     ②コマンドの「LIST」と「&SAVE」は使えません。
- 2. 数分後,本装置から結果を知らせるメールが届きます。

# 3. WEBコマンドからの制御

WEBからダイレクトコマンドで接点制御ができます。

WEBコマンドでの制御方法

WEBコマンドは主に接点制御のためのコマンドであり、設定の変更は出来ません。 cmd.htm の後に下記のフォーマットで記入します。

?userid=[ユーザーID] & password=[パスワード] & command= [利用コマンド]

例) ユーザーID admin / パスワード magic / コマンド sof3 http://192.168.10.1/cmd.htm?userid=admin&password=magic&command= sof 3

#### 変数名を省略も可能です。

?userid > ?i &password >?p&command > ?c http://192.168.10.1/cmd.htm?i=admin&p=magic&c= sof 3

利用可能コマンド

利用可能ユーザーLv[ident control admin] VER POS XPOS OLS OLSn

利用可能ユーザーLv[control admin] SONn SOFn MSON MSOF SSRn MSON\_mmmmmmmm MSOF\_mmmmmmmm MSOF\_mmmmmmmm MSSET\_mmmmmmmm (\_」はスペースを表します)

#### WEBからダイレクトコマンドで接点制御しますと下記の「WEB画面」が表示されます。

機器	Noname	設定:機器名称
	1 ON 2 ON 3 OFF 4 ON 5 ON 6 ON 7 ON 8 ON	ダイレクトWEBコマンド制御 接点表示 死活表示 ※コマンドとして「POS」を実行したとき、 「死活表示」が正しく表示されないことが あります。

注意 第4章「Webブラウザでの設定,制御」での「基本設定」「機器設定」「機器と称」及び「通信設定」「ダイレクトWEBコマンド制御」の各項目を設定してご使用ください。

接点出力8は、B接点です。ON動作でOFF動作の結果が、OFF動作でON 動作の結果が生じます。

第7章 ロギング機能

# 1. ロギング機能の設定・表示

デバイスの監視やその他のイベントログを1000件記録します。1000件を超えた場合は古いログから消去し、新しいログを記録します。記録されたログは、コマンドで表示・確認できます。

- 1) TELNETによる設定と表示 記録モード・表示モードの設定及び記録されたログの表示は、それぞれのコマンドを入力しく Enter>キーで実行します。ログインして制御する方法で操作します。
  - 記録モードの変数名とコマンド 変数名 : logMode コマンド : logMode
  - ② 表示モードの変数名とコマンド
     変数名 : logDisp
     コマンド : logDisp
  - ③ 接続中の表示のみを変更するコマンド
     (通信が終了すると「logDisp」の値に戻ります。)
     コマンド : LOGDISP
  - ログ制御変数のビット構成 値は最下位をのビットとし、31ビットの構成になっています。

0:無,1:有 ビット 30 : 未使用 29 : 手動スイッチ押下 28 : 接点出力状態変化 : 接点入力状態変化 27 26 : 未使用 25 : スクリプト実行/失敗 24 : 未使用 23 : SSHサーバ接続/切断 22 : 未使用 21 : NTPアクセス : 未使用 20 19 : 未使用 18 : 未使用 17 : 変数設定, write 16 : PPPoE関連 15 : 未使用

13 : TELNETログイン・ログアウト
 12 : TELNET接続・切断

ビット

- 11 : Webログイン・ログアウト
- 10 : Web接続

14 : 未使用

- 9 : メールログイン・ログアウト
- 8 : メール不正アクセス
- 7 : ユーティリティログイン・ログアウト
- 6 : ユーティリティ接続・切断
- 5 : 未使用
- 4 : 接点制御コマンド
- 3 : 未使用
- 2 : ping監視によるイベント
- 1 : ping無応答
- 0 : ping送信

....

TELNET通信による設定例

- ログ表示コマンド

コマンド	内容
LOG	ログの表示(連番号順)
LOGn	ログの表示(最新n個)
	e=t ログ開始からの経過秒=現在時刻
LOGTIME	eO = tO NTP接続までの経過秒二最初の取得時刻
	NTP無効の場合はeのみ表示
LOGCLEAR	ログのクリア
LOGCLEAR T	ログのクリア及び記録時間のリセット

ログの表示数は20項目です。

<Enter>キーで続きの20項目を表示します。

■ ログの表示形式

nnn ttt a b xxxxxxx c

nnn		:	連番号	
ttt		:	NTP無効時:記録開始からの時間	(秒)
yy.mm.dd	hhimmiss	:	NTP有効時:年月日時分秒	
а		:	接点番号	
b		:	PING送信先番号(1~4番)	
******		:	イベント	
С		:	IPアドレス	

### ■ 記録ログー覧表

監視設定に基づくイベント(記録・表示のモード設定があります。)			
Ping	ping送信		
No Echo	ping無応答		
監視設定(Action)に基づくイ	ベント		
No Action	処理なし		
Contact On	接点ON		
Contact Off	接点OFF		
スケジュールの場合は、「by Sc	hedule」、と表示されます。		
接点制御によるイベント			
MSON	全接点の出力開始		
	(全接点時/接点指定時ともログ内容は共通)		
MSOF	全接点の出力停止		
	(全接点時/接点指定時ともログ内容は共通)		
MSSET	接点出力状態の設定		
SON	指定された接点の出力開始		
SOF	指定された接点の出力停止		
アクセスによるイベント(接続先Dが表示されます。)			
>Web	Web接続		
==>Web	Webログイン		
<== Web	Webログアウト(切断)		
MAIL,TELNETの接続, ログイ	ンなどもこれに準じます		
NTPServerAccessError	NTPサーバ接続エラー。3回続けて失敗した場合。		
NTP hhimmiss	NTPサーバ接続		
SSHServerConnected	SSHサーバ接続		
modeに関係のない表示			
Mail Error	メール送信エラー		
by Link Manual SW	手動スイッチ押下		

第8章 PPPoEの使用

# 1. PPPoEICONT

本装置はPPPoEを搭載しています。通信事業者のPPPoEサーバに対する、PPPoEクライアントとして、ご利用いただけます。

# 2. 設定について

PPPoE機能をご利用いただくために,以下の変数をご用意しています。 変数の変更は,コマンドから行います。 また,◎の変数は設定ユーティリティのメニューから設定を行えます。

OpppMode
OpppUserId
OpppPassword
pppMyMru
pppNoReplyInterval
pppConnectInterval
pppReconnectInterval
pppLcpEchoInterval
pppLcpEchoCount
ppplcmpEchoCount
ppplcmpEchoCount
pppLogMode

1:常時接続モード O:コマンド接続モード(初期値O)
 ユーザーD
 パスワード
 自局側MRU(初期値1454)
 無応答判定時間(秒,初期値2)
 常時接続リトライ間隔(秒,初期値3O)
 自動再接続間隔(秒,初期値5:フレッツ仕様では5以上)
 LCPのエコー送信間隔(秒,初期値3O)
 LCPリンク解放までの無応答回数(初期値1O)
 ICMPのエコー送信間隔(秒,初期値0)
 IPリンク解放までの無応答回数(初期値5)
 1:接続・解放等のログを記録 O:記録しない(初期値1)

# 3. 制御について

PPPoE機能をご利用いただくために、以下のコマンドをご用意しています。

PPPCONN	接続動作を開始
	pppUserldとpppPasswordが設定されていて、かつ初期状態なら動作
	を開始しCommand OKと表示する。そうでなければCommand
	failedと表示する。
PPPDISC	切断動作を開始
	常にCommand OKと表示する。初期状態なら何もしない。
PPPSTAT	状態表示
	常時接続モードでも、コマンドを使用できる。

# 4. 動作について

PPPoE機能ご利用時の動作を説明します。

常時接続モード(pppMode=1)

- ・立ち上げ時にpppUserldとpppPasswordが設定されていれば、自動的に接続動作を開始します。接続が不成功ならpppConnectIntervalの間隔でリトライを続けます。
- ・接続後、通信中に切断された場合は、pppReconnectInterval後に接続をリトライします。
- ・PPPDISCコマンドで切断した場合は、PPPCONNコマンドを実行しない限り接続動作は開始 しません。このPPPCONNコマンドによる接続が不成功でも、リトライはしません。

リセット時の動作

・接続時にCPUリセット(ウォームスタート)を行うと、自動的に切断します。常時接続モード であれば、その後あらためて接続動作を開始します。

DNSサーバアドレス取得

・IPCP接続手順で取得したアドレスを変数ipAdDnsServerに自動的に設定します。

状態表示

- PPPSTATコマンドでは、フェーズ(p)とサブフェーズ(s)を、p-sとして表示します。
   例:タイムアウトとリトライを繰り返した後、初期フェーズに戻るが、状態表示は次のようになる。PPPSTAT 0,1-1これは1-1の状態で接続が不成功となり、初期フェーズになったことを示します。
- •1-3と3-3は、状態としては存在しません。PPPSTAT 0,のあとに続く表示としてだけ用いられます。例えば、PPPSTAT 0,3-3となったら、認証失敗を示します。
- ・接続フェーズでは、等号に続けてIPアドレスも表示します。

各状態の説明

フェーズとサブフェーズの組み合わせで状態が決まります。

フェーズ O::初期フェーズ 1:Discoveryフェーズ 2:LCPフェーズ 3:CHAPフェーズ 4:IPCPフェーズ 5:接続フェーズ 6:切断フェーズ

サブフェーズ

各フェーズごとに定義されます。(初期フェーズと切断フェーズには存在しません)

Discoveryフェーズ

O::初期

- 1:PADI送信,PADO待ち
- 2:PADR送信,PADS待ち
- 3:PADSIJ-

4:リンク確立

#### LCPフェーズ, IPCPフェーズ

- O:初期
- 4: Closing
- 6:Req-Sent Config-Req送信, Config-Ack待ち, Config-Req待ち
- 7: Ack-Rcvd Config-Req送信, Config-Ack受信, Config-Req待ち
- 8: Ack-Sent Config-Req送信, Config-Req受信, Config-Ack送信, Config-Ack送[]

9:リンク確立

CHAPフェーズ

O:初期

- 1: Challenge待ち
- 2:Result待ち
- 3:エラーResult
- 4:0K
- 接続フェーズ
  - 0:通常
    - 1:障害
    - 2:復旧中

無応答判定

無応答判定時間[変数pppNoReplyInterval]は、以下の場合に適用します。

- PADIC対するPADO待ち
- PADRに対するPADS待ち
- ・LCP, CPCでConfig-Reqに対するConfig-Ack,Config-Nak待ち
- •LCP, ICPCでConfig-Rea待ち
- •LCP, ICPCでTerm-Realに対するTerm-Ack待ち
- ・LCPでEcho-Regに対するEcho-Reply待ち
- CHAPチャレンジ待ち
- ・CHAPリザルト待ち

接続中は、pppLcpEchoIntervalの間隔でLCPエコー要求を送って、ノットレディでないか監視しています。pppNoReplyInterval以内に応答が無いとその時点で再び送信します。無応答が pppLcpEchoCountの回数に達するとノットレディと見なします。

ノットレディと見なすと、接続手順を開始できるか(レディになったか)をチェックします。接続手順を開始できるようになったとき(具体的にはPADIにPADOが返ってきたとき)、あらためてLCPエコー要求を送る。応答があれば、接続状態に戻ったと見なします。応答が無ければ、接続手順を開始し、再接続します。(ただし常時接続モードでなければ、再接続はしません)

接続中に、ppplcmpEchoIntervalの間隔でICMPエコー要求を送って、IPリンクが解放されていない か監視できます。無応答がppplcmpEchoCountの回数に達すると、IPリンク解放と見なし、常時接 続モードなら再接続を行います。初期値はppplcmpEchoIntervalがOですので、ICMPエコー要求は 送りません。

LCPエコーとICMPエコーを除いては、リトライ回数は3になっています。

ログ記録

変数logModeの16ビットが有効な場合は、以下のものがログに記録されます。

PPPoE Connect	接続した。IPアドレスも表示
PPPoE Disconnect	切断した
PPPoE Disconnected	切断された
PPPoE Modem Down	ノットレディになった
PPPoE Modem Up	レディになった
PPPoE Continue	接続状態に戻った
PPPoE IP Link Release	IPリンクが解放された

第9章 シャットダウン スクリプト

# 1. スクリプト仕様について

本装置はシャットダウンスクリプトを搭載しています。この機能により、接続された機器を正常に停止できます。

## (1) スクリプトの基本動作

- ① 接点がOFF命令を受け、シャットダウン遅延中に動作します。OFF命令はコマンド、スケジュール、死活監視、接点入力連動より出されます。
- ② 指定のIPアドレス、ポートにTELNET接続またはSSH接続を行います。
- ③ 接続後,設定したスクリプトを実行します。
- ④ スクリプト実行後、以下の条件で接点をOFFします。
   ・PING応答確認有りの場合:シャットダウン遅延時間中、数秒間隔でPING監視を行い応答が無くなるか、またはシャットダウン遅延時間がタイムアップした時
   ・PING応答確認無しの場合:シャットダウン遅延時間がタイムアップした時
- (スクリプトの終了コードにより接点OFF条件を定めることができます。) ⑤ SSH接続は同時には1個だけ可能です。複数ある場合は、他のSSH接続が終わってから接続する
- ことになるます。SSHサーバが接続している場合は、強制的に切断します。

## (2) 設定

(第4章2.(1)[2]<1>-1 シャットダウンスクリプト設定をご参照ください。ブラウザから設定できます。)

本機をTELNET接続からターミナルソフトにて下記の項目を設定してください。(接点毎に以下の設定をします。)

IPアドレス	:	deb01ShutdownAddr
Port番号	:	deb0lShutdownPort
		Oを指定すると、TELNETなら23、SSHなら22と見なし
		ます。
スクリプト番号	:	deb01ShutdownScript
スクリプトの有効/無効	:	deb0lShutdownEnabled
サーバ名(ID)	:	deb01ShutdownName
パスワード	:	deb01ShutdownPassword
PING実行先	:	deb01ShutdownPingAddr
		PINGでシャットダウン終了を確認すします,
		IPアドレスまたはドメイン名を設定します。
PING間隔	:	deb0lShutdownPingInterval
PING回数	:	deb01ShutdownPingCount
PING限度	:	deb01ShutdownPingMax
接点OFF条件		deb01ShutdownOffMax

### (3) ログ

 スクリプトの成功または失敗をログと変数に残します。
 変数はdebOlShudownExitとdebOlShutdownMsg この変数の値は保存されます。

### (4) エラー処理

- 接続できない時 シャットダウン遅延時間中,数秒間隔でリトライします。 接続できなければ,終了コード254で終了します。
- 2 切断された時 接続後に切断されたときは、終了コード253で終了します。

## (5) テキスト仕様

- ① 条件
  - テキストサイズは、2Kbyteまでです。
  - テキスト行数は250行までです。
  - ・ テキストの第1行は、TELNETまたはSSHとします。
  - 行の先頭やパラメータの区切りに任意個のタブや空白を入れてもかまいません。
  - スクリプト関数は大文字でも小文字でも可能です。
  - 2バイト文字にも対応しています。
- ② スクリプト関数詳細

文字列	:	二重引用符"で囲みます。
		CRコードは¥r,LFコードは¥nで表します。
		また,1個の¥は¥¥で,1個の"は¥"で表します。
		制御コード等は¥xnnでnnは2桁の16進数で表し
		ます。
		(長さは最大63バイト)
timeout 時間	:	単位秒。スクリプトタイムアウト
		最大1023 (デフォルト10分)
		時間が来たら強制的にスクリプトを終了します。
		(終了コードは255)
delay 時間	:	単位100ミリ秒,一時停止,最大1023
goto ラベル	:	指定ラベルに飛びます。
ラベル	:	ラベルは1~99
		行の残りにはコメントしか書くことはできません。
exit 終了コード	:	スクリプト終了 終了コードは0~255。省略は0
		変数debOlShudownExitに設定されます。
send 文字列	:	文字列を送信する。
recv	:	データを受信バッファに受信する。
recv 時間 goto ラベル	:	データを受信バッファに受信します。(時間の単位
		は秒)
		時間内に受信できなければラベルに飛びます。
recv 時間 exit 終了コード	:	
if 文字列 goto ラベル	:	受信バッファに文字列があればラベルに飛びます。
if 文字列 exit 終了コード	:	受信バッファに文字列があれば終了します。
unless 文字列 goto ラベル	:	受信バッファに文字列が無ければラベルに飛びま
		<b>ਰ</b> ੍ਹ
unless 文字列 exit 終了コード	:	

:	コメント
	各文の終わりにも/を置いてコメントを書くことが
	できます。
:	メッセージ変数debOlShutdownMsgに文字列を
	入れます。
:	サーバー名(ID)をCRコードつきで送信します。
:	パスワードをCRコードつきで送信します。
	•

③ スクリプト例 (Wiindows用) TELNET //強制タイムアウト時間 600秒 timeout 600 //ユーザーログイン,パスワード確認 1: recv 10 exit 99 unless "login:" goto 1 sendname 2: recv 10 exit 99 unless "password" goto 2 sendpassword З: recv unless ">" goto 3

```
//シャットダウンコマンド送信
send "shutdown /s¥r"
4:
recv
unless ">" goto 4
send "exit¥r"
exit
```

注意 シャットダウンされる側のパソコンは、TELNETまたはSSHサーバ機能 が有効になっている必要があります。

④ スクリプト入力

SCRIPTコマンドで始めます。 SCRIPT 番号 番号は1~8 ENDSCRIPTコマンドで終わります。 変数script1~script8に格納します。コメントや余分のタブ・空白は格納しません。 エラーがある場合は、エラーを表示し、格納しません。

## (6) PING確認について

スクリプト実行が終了したなら、終了コードが何であってもPING確認を実行します。 PING確認では、PING実行先が指定されていれば、指定間隔でPINGを送信します。 PING回数だけ連続して未応答なら、PING確認を終了します。 PING限度だけ送信したなら、PING確認を終了します。 PING実行先が指定されていなければ、すぐにPING確認を終了します。 PING確認を終了したなら、debOIShutdownTimeの遅延後に接点をオフします。

第10章 SNMPについて

# 1. SNMPについて

本装置はSNMPエージェント機能を装備しています。SNMPマネージャーを利用して、ネットワークシステムの管理、接点制御を統合的に行うことができます。

2	・機器設定
本装置をTELNET接続にて下記の項目	を設定してください。「その他の制御」を参照してください。
<ol> <li>SNMPのSET, GET有効 変数 デフォルト</li> </ol>	と : snmpGetSetEnabled : O (O:無効 1:有効)
<ol> <li>SNMP TRAPの有効化 変数 デフォルト</li> </ol>	: snmpTrapEnabled : O (O:無効 1:有効)
<ul> <li>③ SNMP不正アクセス時の TRAP通知 変数 デフォルト</li> </ul>	: snmpAuthenTrapEnabled : 2 (1:有効 2:無効)
<ul><li>④ TRAP送信回数</li><li>変数</li><li>デフォルト</li></ul>	: snmpTrapSendN : 1 (1~9)
⑤ TRAP送信間隔(秒) 変数 デフォルト	: snmpTrapSendInterval : 1 (1~9)
<ul><li>⑥ TRAP送信先アドレス 変数 デフォルト</li></ul>	<ul> <li>snmpTrapAddr</li> <li>0.0.0.0,0.0.0,0.0.0,0.0.0,0.0.0,0</li> <li>0.0.0.0,0.0.0,0.0.0,0.0.0,0.0.0,0</li> </ul>

(8箇所)

⑦ SNMP用フィルターの有効化
 変数 : snmpFilterEnabled
 デフォルト : O
 (0: 無効 1: 有効)

(10箇所)

③ フィルター有効時のMask
 変数
 ジフォルト
 ジロオルト
 ジロオルト
 ジロオント
 ジロオント

255.255.255.255,255.255.255.255.255, 255.255.255.255,255.255.255.255, 255.255.255.255,255.255.255.255, 255.255.255.255,255.255.255.255 (10箇所)

- ① SNMP GETコミュニティ名
   変数 : getCommunity
   デフォルト : Public
- ① SNMP SETコミュニティ名
   変数 : setCommunity
   デフォルト : Public
- ② SNMP TRAPコミュニティ名
   変数 : trapCommunity
   デフォルト : Public

# 3. MIBICONT

本機を管理するためのプライベートMBを準備しています。

当社ホームページ(http://www.meikyo.co.jp/archive/)よりMEIKYO.MIBをダウンロードし、ご利用ください。

プライベートMIBファイルをNMSにロード・コンパイルすることにより、本機の管理をNMS上で 行うことができます。

注意 MIBのロード・コンパイル使用方法についての詳細は、ご利用されるNMSのマニュアルを参照してください。

第11章 接点情報 延長機能
# 1. 接点延長機能について

本機能は、POSEを1対n接続(親機1台,子機 最大8台)の構成でネットワークを介して接続することにより、以下のような遠隔操作や連動制御を行うことができる機能です。

- •子機に接続した端末から、親機の接点入出力の状態を参照する
- ・子機に接続した端末から、親機の接点出力をON/OFFする
- ・親機の接点入力状態に連動して、子機の接点出力をON/OFFさせる
- ・子機の接点入力状態に連動して、親機の接点出力をON/OFFさせる



Webブラウザから本機能に関わる設定を行なう画面は、以下のようになります。

〈基本設定〉→〈詳細設定〉→〈外部接続設定:連動設定〉→〈接点情報延長設定〉画面

TELNETにより変数を直接制御することも可能です。変数についてはp.121~128を参照してください。



# (1) 親機の設定

## [1] 基本設定

POSEを親機として動作させるためには、以下の設定を行ってから、本体前面にあるDIPスイッチ を全てOFFにした状態で再起動をしてください。なお、「延長モードHTTP機能」を「無効」にした 場合、親機として動作するようになった後はWebブラウザによる設定や操作ができなくなります ので、ご注意ください。(TELNETによる設定や操作は可能です。)

設定項目	概要
[機能] ※ 共通設定側にあります	本機能の有効・無効を設定します。
[親機ポート番号] ※ 共通設定側にあります	親機・子機間にて通信するために使用するポート番号を設定し ます。子機と共通の値に設定してください。
[登録アドレス限定]	子機のIPアドレスを限定するか否かを設定します。 <ul> <li>限定する場合は、[子機Pアドレス1~8]にIPアドレスを設定します。</li> <li>限定しない場合も、一度に接続できる子機の数は最大8台となります。</li> </ul>
[子機Pアドレス1~8]	子機のIPアドレスを設定します。本設定は、「登録アドレス限 定」を有効にした場合にのみ使用されます。
[延長モードHTTP機能]	有効:親機として動作している間もWEBブラウザで確認,設定,制御ができます。 無効:親機として動作している時にはWEBブラウザで確認で きません。(TELNET通信では可能です)

## [2] その他の設定

必要に応じて以下の設定をしてください。

設定項目	概要
[遠隔接点入力状態 変化確定回数]	接点入力状態を確定するための条件を設定します。 20[msec] 間隔で,設定された回数分 連続してH'もしくは 'L'を検出した場合に,接点入力状態を確定します。 • 1~999 を指定可能 • 初期値は5
[遠隔接点入力状態 変化通知マスク]	接点入力状態の変化を検出した時に、状態変化を子機に通知する接点番号を選択します。
※ 子機設定側にあります	<ul> <li>mmmmmmmm : 左側から接点1~8, m=0: OFF, 1:ON</li> <li>初期値は "1111111"</li> </ul>
	※子機側で, 親機からの状態変化通知のうち, どの接点番号に ついて確認するかを選択させることもできます。

# (2) 子機の設定

## [1] 基本設定

POSEを子機として動作させるためには、以下の設定をしてから、本体前面にあるDIPスイッチを スイッチ2のみONにした状態で再起動をしてください。なお、子機として動作している間も、WEB ブラウザによる操作や設定は可能です。

設定項目	概要
[株)[1]	本機能の有効・無効を設定します。
※ 共通設定側にあります	
[親機ポート番号]	親機・子機間にて通信するために使用するポート番号を設定します。親機と共通の値に設定してください。
※ 共通設定側にあります	
[親機則Pアドレス]	親機のIPアドレスを設定します。

## [2] その他の設定

必要に応じて以下の設定をしてください。

設定項目	概要
[遠隔接点入力状態 変化通知マスク]	<ul> <li>親機からの接点入力状態変化通知のうち,確認する接点番号を設定します。</li> <li>mmmmmmmm : 左側から接点1~8 m = 0 : OFF, 1 : ON</li> <li>初期値は "1111111"</li> </ul>
[遠隔接点出力状態 変更許可フラグ]	親機の接点出力のうち、子機からの操作を可能とする接点番号を設定 します。 ・ 左側から接点1~8 ・ 初期値は全接点ON
[遠隔接点入力1-8名称] [遠隔接点出力1-8名称]	<ul> <li>親機の接点入力,出力に名前を付けます。Webブラウザ画面やメール</li> <li>通知などで各接点を名前で確認することができます。</li> <li>全角10 文字,半角英数字20 文字以内</li> <li>初期値は"Remote NV Input #", "Remote NV Output #"</li> <li>(# は, 1~8)</li> </ul>

[接点入出力連動許可]	<ul> <li>親機・子機間の接点入出力を連動させるモードを設定します。</li> <li>"禁止" : 連動させない</li> <li>"親機&gt;子機" : 親機の接点入力状態に連動して,子機の 接点出力をON/OFFさせる (初期値)</li> <li>"子機&gt;親機" : 子機の接点入力状態に連動して,親機の 接点出力をON/OFFさせる</li> <li>"双方" : 親機→子機,子機→親機双方の連動を許 可する</li> </ul>
[メール通知設定フラグ 遠隔接点入力]	<ul> <li>親機からの接点入力状態の変化通知に連動して、チェックした通知先メールアドレス宛てにメール通知を行ないます。</li> <li>・ 左側から通知先メールアドレス1~8</li> <li>・ 初期値は全てOFF</li> <li>※通知先メールアドレスの設定は、WEBブラウザから〈通信設定〉</li> <li>→〈メール設定〉 画面にて行ないます。</li> </ul>
[メール通知設定フラグ 遠隔接点出力]	<ul> <li>親機の接点出力の遠隔操作に連動して、チェックした通知先メールアドレス宛てにメール通知を行ないます。</li> <li>・ 左側から通知先メールアドレス1~8</li> <li>・ 初期値は全てOFF</li> <li>※通知先メールアドレスの設定は、WEBブラウザから〈通信設定〉</li> <li>→〈メール設定〉 画面にて行ないます。</li> </ul>
[遠隔接点入力状態変化の 種類別メール通知可否 設定]	<ul> <li>親機の接点入力状態の変化の種類(ON/OFF)に応じて、メール通知</li> <li>する/しないを設定します。</li> <li>"無効" : 通知しない</li> <li>"OFF" : OFF時にのみ通知する</li> <li>"ON" : ON時にのみ通知する</li> <li>"ALL" : OFF/ON両方で通知する(初期値)</li> </ul>
[本機接点入力状態変化の 種類別メール通知可否 設定]	<ul> <li>子機の接点入力状態の変化の種類(ON/OFF)に応じて、メール通知 する/しないを設定します。</li> <li>"無効" : 通知しない</li> <li>"OFF" : OFF時にのみ通知する</li> <li>"ON" : ON時にのみ通知する</li> <li>"ALL" : OFF/ON両方で通知する(初期値)</li> </ul>

# (3) タイムアウト制御

以下の設定を行ないます。(すべての項目は子機設定側に含められています。)

設定項目	概要
[親機/子機間通信 死活監視の有効化]	<ul> <li>死活監視機能の有効化、あるいは無効化を設定します。</li> <li>"無効" : コマンドレベルの無通信タイマーにて監視</li> <li>"keep-alive" : keep-aliveパケット送信にて監視(初期値)</li> <li>"無通信タイマー" : パケットレベルの無通信タイマーにて監視</li> </ul>
[無通信監視時間]	コマンドレベルの無通信タイマータイムアウト時間を設定します。 • 単位:分 • O~1440を指定可能, Oは監視しない • 初期値は1440
[親機/子機間通信 タイムアウト時間]	パケットレベルの死活監視のタイムアウト値を設定します。 ・ 単位:秒 ・ 60~3600を指定可能。 ・ 初期値は60
[親機/子機間通信 keep-aliveパケット送信 間隔]	<ul> <li>keep-aliveパケットの送出間隔を設定します。</li> <li>単位:秒</li> <li>20~60を指定可能。</li> <li>初期値は20</li> </ul>
[親機/子機間通信 keep-aliveパケット再送 信回数]	keep-aliveパケットの応答が無い場合の最大リトライ回数を設定し ます。 • O~10を指定可能 • 初期値は3

注意	「親機/子機間通信 死活監視の有効化」の設定変更後にはCPUリセットが
	必要です。

# 3. 接点制御方法

子機に接続した端末からWEBブラウザを使って接点制御を行なうことができます。 また、親機の接点入力の状態に子機の接点出力を連動させる、もしくは子機の接点入力の状態に親機の接 点出力を連動させることができます。

# (1) WEBブラウザによる子機接点制御

子機の接点制御は、WEBブラウザから〈接点出力制御〉→〈接点制御〉画面にて行ないます。これは、 接点情報延長機能を使用していないときと同様です。(親機の場合、「延長モードHTTP機能」を「有効」 にしている時は可能ですが、「無効」にしている場合は接続した端末からWEBブラウザによる制御は行な えません。)

		送点制御
	接点制御	仮想アウトレット制御」」「「「「「「「「「」」」「「」」「「」」」「「」」「」」「」」「」」「」」
点制	御情報	
No.	接点制御名称	制御 接点
1	NV Output1	接点ON 接点OFF OFF
2	NV Output2	接点ON 接点OFF OFF
3	NV Output3	接点ON 接点OFF OPF
4	NV Output4	接点ON 接点OFF OFF
5	NV Output5	接点ON 接点OFF OFF
6	NV Output6	接点ON 接点OFF OFF
7	NV Output7	接点ON 接点OFF OFF
-		
3B	NV Output8	接点ON 接点OFF 0//// 12345678 12345678 12345678 11111111 1111111
日	NV Output8 全接点制御 力情報	接点ON 接点OFF 0411 0411 0411 0411 0411 0411 0411 04
旧 記 記 礼	NV Output8 全接点制御 力情報	_ 接点ON 接点OFF
旧 武入 lo.	NV Output8 全接点制御 <b>力情報</b> NV Input1	
iB i.入 lo. 1	NV Output8 全接点制御 力情報 NV Input1 NV Input2	接点ON   接点OFF   0111 12345678 12345678 12345678 11111111   11111111 接点ON 接点OFF 接点設定 1=動 0=無 名称 接点 01FF   01FF   00FF
旧 記 礼 2 3	NV Output8 全接点制御 力情報 NV Input1 NV Input2 NV Input3	_ 接点ON 接点OFF 0444 12345678 12345678 12345678 11111111 1111111 接点ON 接点OFF 接点設定 1=動 0=無 名称 接点 0FF 0FF
旧 1 2 3 4	NV Output8 全接点制御 <b>力情報</b> NV Input1 NV Input2 NV Input3 NV Input4	
旧 乱入 1 2 3 4 5	NV Output8 全接点制御 大力情報 NV Input1 NV Input2 NV Input3 NV Input4 NV Input5	接点ON   接点OFF   0111 12345678 12345678 12345678 11111111   11111111 接点ON 接点OFF 接点設定 1=動 0=無 名称 接点 0FF   0FF   0
日 1 2 3 4 5 6	NV Output8 全接点制御 大力情報 NV Input1 NV Input2 NV Input3 NV Input4 NV Input5 NV Input6	接点ON   接点OFF   0ht   12345678   12345678   12345678   12345678   12345678   11111111   11111111   11111111   接点ON 接点OFF 接点設定   1=動 0=無   1=動 0=無   1=動 0=   1=動 0=   1=動 0=   1=動 0=   1=動 0=   1=助 0=   1=   1=   1=   1=   1=   1=   1=
3日 40. 1 2 3 4 5 6 7	NV Output8 全接点制御 之按点制御 NV Input1 NV Input2 NV Input3 NV Input4 NV Input5 NV Input6 NV Input7	_ 接点ON 接点OFF 0ht 12345678 12345678 12345678 11111111 1111111 接点ON 接点OFF 接点設定 1=動 0=無 2000 2000 2000 2000 2000 2000 2000 2

# (2) WEBブラウザによる親機接点制御(遠隔接点制御)

子機から親機の接点出力制御は、WEBブラウザから〈接点出力制御〉→〈遠隔接点制御〉画面にて行ない ます。制御可能な接点出力番号は、「遠隔接点出力状態 変更許可フラグ」にて制限されます。 同じ〈遠隔接点制御〉画面にて、親機の接点入力状態を参照できます。

	送 隔 按 只 市	alleth		
	接点制御していた。	レット制御	遠隔接点制御の	Л
鬲接 :	点制御情報 			
No.	名称		制御	接点
1	Remote NV Output 1	接点の	1 接点OFF 📃	140
2	Remote NV Output 2	10点射	1 接点OFF 📃	(i)[i][i]
3	Remote NV Output 3	接点01	1 接点OFF 📃	01010
4	Remote NV Output 4	接点の	1 接点OFF 📃	()(P)(P)
5	Remote NV Output 5	10点射	4 接点OFF 📃	() F F
6	Remote NV Output 6	接点OM	1 接点OFF	())P(P
7	Remote NV Output 7	10点射	1 接点OFF 📃	01616
3B	Remote NV Output 8	接点の	1 接点OFF 📃	()[F]F
۰.	名称	_		接点
ło. 1	名称 Remote NV Input 1	-		接点 0FF
40. 1 2	名称 Remote NV Input 1 Remote NV Input 2	-		接点 OFF OFF
lo. 1 2 3	名称 Remote NV Input 1 Remote NV Input 2 Remote NV Input 3			接点 OFF OFF OFF
10. 1 2 3 4	名称 Remote NV Input 1 Remote NV Input 2 Remote NV Input 3 Remote NV Input 4			接点 OFF OFF OFF OFF
No. 1 2 3 4 5	名称 Remote NV Input 1 Remote NV Input 2 Remote NV Input 3 Remote NV Input 4 Remote NV Input 5			接点 OFF OFF OFF OFF
No. 1 2 3 4 5 6	名称 Remote NV Input 1 Remote NV Input 2 Remote NV Input 3 Remote NV Input 4 Remote NV Input 5 Remote NV Input 6			接点 0FF 0FF 0FF 0FF 0FF 0FF
No. 1 2 3 4 5 6 7	名称 Remote NV Input 1 Remote NV Input 2 Remote NV Input 3 Remote NV Input 4 Remote NV Input 5 Remote NV Input 6 Remote NV Input 7			接点 0FF 0FF 0FF 0FF 0FF 0FF

## (3) 連動動作

〈接点情報延長設定〉画面の〔接点入出力連動許可〕 設定にて、以下のような連動動作を許可します。

#### [1] 親機→子機

親機の接点入力状態に連動して、子機の接点出力をON/OFFさせます。たとえば、親機の接点入 カ#1がOFFからONに変わった場合に子機の接点出力#1をOFFからONにすることができます。 子機ごとに〔遠隔接点入力状態変化通知マスク〕を使用して、親機のどの接点入力番号と連動さ せるかを設定することが可能です。たとえば、子機#1 は 接点入力#1,子機#2は接点入力#2 と連動する、という様にすることができます。

(例)

	[遠隔接点入力状態 変化通知マスク]	連動動作
子機#1	1000000	親機の接点入力#1 に 接点出力#1を連動
子機#2	0100000	親機の接点入力#2 に 接点出力#2を連動

#### [2] 子機→親機

子機の接点入力状態に連動して、親機の接点出力をON/OFFさせます。 たとえば、子機の接点入力#1がOFFからONに変わった場合に親機の接点出力#1をOFFからON にすることができます。この場合、接点番号をマスクする設定はありません。実際の接続形態によって、どの接点出力・入力を連動させるかが決定されます。

# 4. 動作概要

## (1) 親機側動作

- 1) 起動後,設定されたTCPポートを開き,子機からの接続を待ちます。
- 2) 子機のIPアドレスを限定している場合は、登録したIPアドレスを持つ子機からの接続のみを 受け付けます。
- 3) 20 [msec] ごとに接点入力の状態を監視します。指定された回数(初期値は5回)以上 'H' または 'L' を連続して検出したならば、その状態になったものとみなします。
- 4) 接点入力状態の変化を検出したならば、子機に対して状態変化を通知します。

注意事項:

• 親機内部で接点入力に接点出力を連動させる機能は無効となります。

## (2) 子機側動作

- 1) 起動後,設定された親機Pアドレスに対して,設定されたTCPポートを使って接続を試みます。
   接続に失敗したときは1秒おきに3回まで再接続を試みます。それでも失敗した場合は「接続エラー」のログを残します。
   それ以降は5秒おきに再接続を試みますが、このときの接続失敗はログには残しません。
   再接続できた場合は、「接続回復」のログを残します。
- 2) 接続直後, 親機に対して接点状態問い合わせコマンドを送り, 親機の接点状態を取得します。
- 3) 接続中は、任意のタイミングで親機にコマンドを送り、接点出力の操作し、接点状態の取得 することができます。
- 4) 親機から接点入力の状態変化通知を受け取ります。

   子機則で状態の変化を確認できた場合,親機→子機の連動が許可されているならば,対応する自身の接点出力をON/OFFします。
- 5) 子機→親機の連動が許可されているならば、自身の接点入力の状態変化に応じて、対応する 親機の接点出力をON/OFFさせるコマンドを親機に送ります。
- 6) 親機にコマンドを送った後、1秒経過した後もレスポンスが返ってこない場合、通信に障害が発生したと判断し、接続を一度切断して再接続を試みます。その際、「親機応答なし」のログを残します。
- 7) 親機の接点入力の状態変化を検知したとき、および親機の接点出力の状態を変化させたとき は、設定にしたがってSNMP TRAPやメール通知による通知を行ないます。

注意事項:

- 親機→子機の連動が許可されている場合、子機自身の接点出力をTELNET、WEBダイ レクトなどのコマンドによってON/OFFさせることができなくなります。
- 子機内部で接点入力に接点出力を連動させる機能は無効となります。
- 子機は親機則の接点出力の動作モードがレベルになっているかパルスになっているかは
   関知しません。(必要に応じて、事前に親機則で設定してください。)

# (3) タイムアウト制御

- [1] コマンドレベルの無通信タイマー監視
  - 1) [親機/子機間通信 死活監視の有効化] を "無効"の状態で、 [無通信監視時間] にゼロ以外の値を設定した場合、親機はコマンドレベルで無通信状態の監視を行ないます。
  - 2) [無通信監視時間] で設定された時間が経過しても子機から有効なコマンドが送信されてこ ない場合, 親機は接続を切断し, 再接続を行ないます。

### [2] keep-aliveパケット送信による死活監視

- 1) [親機/子機間通信 死活監視の有効化] を "keep-alive" に設定した場合, keep-aliveパケット送信にて監視を行ないます。
- 2) [親機/子機間通信 タイムアウト時間] で設定された時間が経過してもTCPパケットの受信 がない場合, keep-aliveパケットの送信を始めます。
- 3) keep-aliveパケット送出後, [親機/子機間通信 keep-aliveパケット送信間隔] で設定され た時間が経過しても送出したkeep-aliveパケットに対するACKパケットが受信できない場 合, keep-aliveパケットを再送信します。
- 4) [親機/子機間通信 keep-aliveパケット再送信回数] で設定された回数だけkeep-aliveパケットの再送信を行なってもACKパケットの受信が確認できない場合,接続を切断し,再接続を行ないます。

## [3] パケットレベルの無通信タイマー監視

- 1) [親機/子機間通信 死活監視の有効化] を "無通信タイマー" に設定した場合, パケットレベルの無通信タイマーにて監視を行ないます。
- 2) [親機/子機間通信 タイムアウト時間] で設定された時間が経過してもTCPパケットの受信 がない場合,接続を切断し,再接続を行ないます。



## ■ 変数一覧

変数 名	初期值	内容	備考
ipAdEntAddr	192.168.10.1	IPアドレス	
ifPhysAddress	(機器毎)	MACアドレス(ReadOnly)	
serialNo		未使用	
keyCode		キーコード:自動生成	
keyCheck	0	キーチェック	0:無効 1:有効
sysName	Noname	機器名称	全角9文字 半角英数字19文字以内
snmpGetSetEnabled	0	SNMPのSET, GETの有効化	0:無効 1:有効
snmpTrapEnabled	0	SNMP TRAPの有効化	0:無効 1:有効
snmpAuthenTrapEnabled	2	SNMP不正アクセス時のTRAP通知	1:有効 2:無効
snmpTrapSendN	1	TRAP送信回数	1~9
snmpTrapSendInterval	1	TRAP送信間隔(秒)	1~9
snmpTrapAddr		TRAP送信先アドレス	"," 区切りで8箇所以内
snmpFilterEnabled	0	SNMP用フィルタの有効化	0:無効 1:有効
snmpFilterAddr		フィルタ有効時許可するアドレス	"," 区切りで10箇所以内
snmpFilterMask	255.255.255.255.255, 255.255.255.255.255, 255.255.255.255.255, 255.255.255.255.255, 255.255.255.255.255, 255.255.255.255.255, 255.255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255, 255.255.255.255.255,	フィルタ有効時のMask	10箇所
getCommunity	public	SNMP GETコミュニティ名	
setCommunity	public	SNMP SETコミュニティ名	
trapCommunity	public	SNMP TRAPコミュニティ名	
sysDescr	文字列1	(ReadOnly)	
sysContact	文字列2	連絡先	
sysLocation	Nowhere	設置場所	全角31文字 半角英数字63文字以内
ifDescr	文字列3	(ReadOnly)	
ipAdEntNetMask	255.255.255.0	ネットマスク	
ipRouteDest		デフォルトゲートウェイ	
netBootpRetry	0	BOOTPリトライ回数	
netRarpRetry	0	RARPリトライ回数	
telnetEnabled	1	TELNETの有効化	0:無効 1:有効
telnetPort	23	TELNETのポート番号	
rshdPort	514	リモートシェル(rsh)に使用する着信ポート	
rshErrPort	1000	リモートシェル(rsh)に使用するエラーポート	
utilityPort	9000	UTYのポート番号	
loadPort	9100	ファームウェアローダーのポート番号	
fileLoadPort	9200	HTMLファイルをロードするポート	
httpEnabled	1	HTTPの有効化	0:無効 1:有効
httpEnabledServer	0	接点情報 延長モードのサーバーとして 動作している ときのWEBアクセスの 有効/無効	0:無効 1:有効
httpPort	80	HTTPのポート番号	
httpRefreshInterval	30	HTTP自動更新間隔(秒)	
httpRefreshEnabled	0	HTTP自動更新の有効化	0:無効 1:有効
httpCommandEnabled	0	HTTPコマンドの有効化	0:無効 1:有効

dhcpEnabled	1	DHCPの有効化	0:無効 1:有効
ipFilterEnabled	0	IPフィルタの有効化	0:無効 1:有効
ipFilterAddr	192.168.10.0	IPフィルタアドレス	"," 区切りで10箇所以内
ipFilterMask	255.255.255.255. 255.255.255.255 255.255.	IPフィルタマスク	10箇所
model	SE10-8A7B1	モデル名(ReadOnly)	
version		バージョン表示(ReadOnly)	
debTcpInactiveTimer	10	TELNET通信時の無通信タイマ(分)	
autoLogin	0	オートログインの有効化	0: 無効 1: LAN:Admin WAN:Admin 2: LAN:Admin WAN:Control 3: LAN:Admin WANIdent
serialAutoLogin	0	シリアル接続のときのオートログイン機能	0:無効 1:有効
userLoginTimeout	600	HTTP自動ログアウト時間	
debOlStartMode	3	電源投入時の接点制御を指定	1: 電源断時の状態 2: 通常制御 3: スケジュール制御
debOlMaster	1,2,3,4,5,6,7,8	マスターの接点番号	左→右 1→8接点 -1~3600の整数
debOlPowerOnTime	1,2,3,4,5,6,7,8	各接点出力ON時間(単位:秒)	左→右 1→8接点 -1~3600の整数
debOlPowerOnSTime	1,2,3,4,5,6,7,8	本体起動時に適用する接点出力ON 遅延時間(単位:秒)	左→右 1→8接点 -1~3600の整数
debOlPowerOnTTime	0,0,0,0,0,0,0,0	スケジュールに適用する接点出力ON 遅延時間(単位:秒)	左→右 1→8接点 0~3600の整数
debOlShutdownTime	0,0,0,0,0,0,0,0	各接点のOFF時間	左→右 1→8接点 -1~3600の整数
debOlWdogAddr		監視先Pアドレス	左→右 1→8接点 "," 区切りで8箇所以内
debOWdogSendMax	10,10,10,10, 10,10,10,10	PING監視 送信回数	左→右 1→8接点 1~100の整数
debOWdogNoResMax	10,10,10,10, 10,10,10,10	PING監視 無応答回数	左→右 1→8接点 1~100の整数
debOIWdogActCond	1,1,1,1,1,1,1,1	PING監視 監視対象数	左→右 1→8接点 1~4(整数)
debOWdogAction	0,0,0,0,0,0,0,0	PING監視 Action	左→右 1→8接点 0:noPing 1:noAction 3:On 4:Off
debOlWdogActCount	0,0,0,0,0,0,0,0	PING監視 Action回数(ReadOnly)	左→右 1→8接点
debOWdogStatus	0,0,0,0,0,0,0,0	PING監視判断(ReadOnly)	左→右 1→8接点 0:未設定 1:正常 2:異常 3:回復中
debOlPopErrorMax	0,0,0,0,0,0,0,0	PING監視 POPサーバーへの連続アクセス異常回数	左→右 1→8接点 0:機能無効
debOWdogLastStatus	0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0, 0,	PING監視 最終応答(ReadOnly)	左→右 1→8接点 0:未設定 1:正常 2:異常 "," 区切りで接点×4
debOWdogDefGateway	0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0, 0,	PING監視 デフォルトゲートウェイ	左→右 1→8接点 0:無効 1:有効 "," 区切りで接点×4
debOINoResCount	0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0,0,0,0,0,0,	PING監視 無応答回数(ReadOnly)	左→右 1→8接点 "," 区切りで接点×4

	0,0,0,0,0,0,0,0,0,		
	0,0,0,0,0,0,0,0		
	0,0,0,0,0,0,0,0,0,		0:未設定
debUIRespTime	0,0,0,0,0,0,0,0,	PING監視 IPアトレスからの心合時間(ms)	1:PING応答の最小値
dah ON - Eaha Internal	0,0,0,0,0,0,0,0		"," 区切りで接点×4
	5	PING監視 無心合快工可同(物)	5~60の 空致
debOIPInginterval	1	PING 监祝 达信间隔(力)	 た→右 1→8接占
pingInterval2	0,0,0,0,0,0,0,0	PING監視 送信間隔個每(分)	0~60の整数 0:未設定
debOlNameV		仮想アウトレットの名称	全角10文字 半角英数字20文字以内
debOlPowerOnTimeV	0,0,0,0,0,0,0,0	仮想アウトレット用のON遅延時間	左→右 1→8仮想アウトレ ット -1~3600の整数
debOlShutdownAddr		シャットダウンスクリプトのIPアドレス	
debOlShutdownPort	0,0,0,0,0,0,0,0	シャットダウンスクリプトのPort番号	
debOlShutdownScript	0,0,0,0,0,0,0,0	シャットダウンスクリプトのスクリプト番号	
debOlShutdownEnabled	0,0,0,0,0,0,0,0	シャットダウンスクリプトの有効化	0:無効 1:有効
debOlShutdownName		シャットダウンスクリプトのサーバー名(ID)	
debOlShutdownPassword		シャットダウンスクリプトのパスワード	
debOlShutdownMsg		シャットダウンスクリプトの成功, 失敗ログ	
debOlShutdownExit	0,0,0,0,0,0,0,0	シャットダウンスクリプトの成功, 失敗変数	
debOlShutdownPingAddr		シャットダウンスクリプトのPING実行先	
debOlShutdownPingInterval	0,0,0,0,0,0,0,0	シャットダウンスクリプトのPING間隔	
debOlShutdownPingCount	0,0,0,0,0,0,0,0	シャットダウンスクリプトのエラー処理	0:無効 1:有効
debOlShutdownPingMax	0,0,0,0,0,0,0,0	シャットダウンスクリプトの電源OFF制限	
debOlShutdownDebug	0	シャットダウンスクリプトのエラー処理	0:無効 1:有効
debOlShutdownOffMax	255	シャットダウンスクリプトの電源OFF制限	
schEnabled	0,0,0,0,0,0,0,0	スケジュールの有効化	0:無効 1:有効
schOl(n)1Sch(文字列)			
(n):I~8 (文字列): Kind,Year,Month,Day,Nth, WeekDay,PatNo		スケジュールデータ(ReadOnly)	
schCalCurrentYear		現在表示中のカレンダーの年	起動直後は現在の日付
schCalCurrentMonth		現在表示中のカレンダーの月	
schCalCurrentDay		現在表示中のカレンダーの日	
schRegNum	0,0,0,0,0,0,0,0	各アウトレットのスケジュール登録個数	左→右 1→8接点
schEditCalYear	0	編集中のカレンダーの年	
schEditCalMonth	0	編集中のカレンダーの月	
schEditCalDay	0	編集中のカレンダーの日	
schUlTimeout	60	アップロードのタイムアウト時間(秒)	
schUlCrcEnabled	1	アップロードのCRCチェックの有効化	0:無効 1:有効
schDlCrcEnabled	1	ダウンロードのCRCチェックの有効化	0:無効 1:有効
schOnColor	#00FF00	WEB上でのONの時の色を指定する	HTMLで使用されるカラー コード
schOffColor	#404040	WEB上でのOFFの時の色を指定する	HTMLで使用されるカラー コード
ipAdDnsServer		DNSサーバアドレス	
mailUserName		メール ユーザー名	半角英数字63文字以内
mailPassword		メール パスワード	半角英数字63文字以内
mailCommandPassword		メール コマンドパスワード	半角英数字63文字以内
mailLastEvent		最新のイベント内容を保管	
mailContent	文字列4	通知メールの内容	最大8パターンまで

mailAddr		メールアドレス	
extMailAddr		送信先メールアドレス	8個
mailInfoFlag	0,0,0,0,0,0,0,0	PING監視 メール送信有効化	0:無効 1:有効
mailPppInfoFlag	0,0,0,0,0,0,0,0	接続確立メールの有効化	0:無効 1:有効
mailNvInInfoFlag	0,0,0,0,0,0,0,0	メール通知設定フラグ接点入力	0:通知しない 1:通知する
mailNvOutInfoFlag	0,0,0,0,0,0,0,0	メール通知設定フラグ接点出力	0:通知しない 1:通知する
mailManuSwInfoFlag	0,0,0,0,0,0,0,0	メール通知設定フラグ 手動スイッチ	0:通知しない 1:通知する
mailOverInfoFlag	0,0,0,0,0,0,0,0	メール通知設定フラグ ログ件数超過	0:通知しない 1:通知する
mailRemconInInfoFlag	0,0,0,0,0,0,0,0	メール通知設定フラグ 接続装置の接点入力	0:通知しない 1:通知する
mailRemconOutInfoFlag	0,0,0,0,0,0,0,0	メール通知設定フラグ 接続装置の接点出力	0:通知しない 1:通知する
mailCommandEnabled	0	メールコマンドの有効化	0:無効 1:有効(ログイン) 2:有効(パスワード方式)
mailCommandAddrEnabled	1	メールコマンドアドレスの有効化	0:無効 1:有効
mailLogoutTime	10	メールログアウト時間(分)	1~60の整数
mailCheckInterval	3	メールチェック間隔(分)	1~60の整数
mailApopEnabled	0	APOPの有効化	0:無効 1:有効
mailSmtpAuthEnabled	0	SMTPAUTHの有効化	0:無効 1:有効
mailSmtpAuthMask	7	SMTPAUTHのMask	
mailNvInOnEvent	ON	通知メール 接点入力ON時のイベント内容	半角英数字20文字以内
mailNvInOffEvent	OFF	通知メール 接点入力OFF時のイベント内容	半角英数字20文字以内
mailNvOutOnEvent		通知メール 接点出力ON時のイベント内容	半角英数字20文字以内 指定なし時は接点出力モー ドが 「レベル」時は「ON」 「パルス」時は「パルス」
mailNvOutOffEvent	OFF	通知メール 接点出力OFF時のイベント内容	半角英数字20文字以内
mailExtraMsg	¥r¥n	通知メール ユーザー定義文字列	最大3パターンまで 半角英数字で40文字以内 (¥r¥nは改行⊐ードの意味)
mailNvInEventFlag	3	メール通知設定フラグ 接点入力の変化状態に対す るメール通知可否	0:ON/OFF両方とも通知し ない 1:OFFのみ通知 2:ONの み通知 3:ON/OFF両方とも通知
mailRemconInEventFlag	3	メール通知設定フラグ (接点情報延長機能にて) 接 続装置の接点入力の変化状態に対するメール通知 可否	0:ON/OFF両方とも通知し ない 1:OFFのみ通知 2:ONの み通知 3:ON/OFF両方とも通知
promptMode	2	TELNETプロンプトモード	0:無し 1:「>」の表示 2:「機器名>」の表示
logMode	011 1010 1011 0111 1111 1111 1111 0100	ログ記録モード(31ビット)	0:無効 1:有効
logDisp	011 1010 1011 0111 1111 1111 1111 1111	ログ表示モード(31ビット)	0:無効 1:有効
mailLogCount	0	メールで送信する更新されたログの数	0:無効 1~20:閾値
mailLogMode	011 1010 1011 0111 1111 1111 1111 1111	メールで送信するログモード(31ビット)	0:無効 1:有効
ipAdNtpServer		NTPサーバのIPアドレス	
ntpInterval	6	NTPサーバへのアクセス間隔(×10分)	
syslogEnabled	0	状態通知の有効化	0:無効 1:syslog 2:MPMP
syslogLogMode	011 1010 1011 0111 1111 1111 1111 1111	sysLogで送信するログモード(31ビット)	0:無効 1:有効

ipAdCenter		MPMP/sysLog送信先IPアドレス(8箇所)	
centerPort	5000,5000, 5000,5000,5000, 5000,5000,50	MPMP/sysLog送信先术一卜番号	
terminalId	0	監視情報用ID番号	0~9999
centerSendTimer	300	監視情報送信間隔(秒)	
centerChangeSendTimer	10	状態変化時の送信間隔(×100ミリ秒)	
centerChangeSendCount	3	状態変化時の送信回数	
ipAdTelnetT		TELNETからのTELNET中継先アドレス	
ipAdTelnetU		UTYからのTELNET中継アドレス	
remoteTelnetPortT	23	TELNETからのTELNET中継先ポート	
remoteTelnetPortU	23	UTYからのTELNET中継ポート	
discChar		中継中の通信切断キャラクタ	
pppMode	0	PPPoE常時接続モード	0:無効 1:有効
pppUserId		PPPoEユーザーID	
pppPassword		PPPoEパスワード	
pppMyMru	1454	自局側MRU	
pppNoReplyInterval	2	無応答判定時間(秒)	
pppConnectInterval	30	常時接続リトライ間隔(秒)	
pppReconnectInterval	5	自動再接続間隔(秒)	
pppLcpEchoInterval	30	LCPのエコー送信間隔(秒)	
pppLcpEchoCount	10	LCPのリンク解放までの無応答回数	
pppIcmpEchoInterval	0	ICMPのエコー送信間隔(秒)	
pppIcmpEchoCount	5	IPリンク解放までの無応答回数	
pppStat	0,0,0	PPPoEの状態(ReadOnly)	
pppAddress		PPP₀E IPアドレス	
pppConnTime	0:00:00	接続後の経過時間(秒)	0:無接続
ispName		ISPの名称	全角31文字 半角英数字63文字以内
debWakeupPhysAddr		WOL設定	"、"区切りで4箇所以内
debWakeupMaxCount	2	マジックパケット送信回数	
debWakeupInterval	15	マジックパケット送信間隔(秒)	
debWakeupPhysAddrV		仮想アウトレット用のWOL設定	"、"区切りで8箇所以内
popPort	110	POP3ポート	0~65535
smtpPort	25	SMTPポート	0~65535
mailRetryCount	3	メールリトライ回数	1~99
mailRetryInterval	10	メールリトライ間隔(秒)	1~999
ipAdPopServer		POP3サーバアドレス	
ipAdSmtpServer		SMTPサーバアドレス	
etherSpeed	2	接続速度	0: 接続していない 1: 10.0Mbps 2: 100.0Mbps
nttcpBufferMax	10000	バッファサイズの最大値	64~300000
nttcpOpt_l	4096	バッファサイズ(-1)の省略値	64~300000
nttcpOpt_n	2048	バッファ数(-n)の省略値	1~999999999
nttcpOpt_g	0	送信間隔(-g)の省略値(マイクロ秒)	0~9999999
nttcpOpt_T	0	タイトル表示(-T)の省略値	0: 無し, 1: 有り
nttcpOpt_f	文字列5	出力書式(-f)の省略値	
nttcpSvIpAddr		サーバーのIPアドレスの省略値	
nttcpSvPort	5037	サーバーのポート番号(-p)の省略値	0~65535
nttcpDataPort	5038	データのポート番号	0~65535
nttcpMcPhAddr	01:00:5E:11:32:25	マルチキャストのMACアドレス	

nttcpMcIpAddr	224.17.50.37	マルチキャストのIPアドレス(-m)の省略値	
nttcpMcPort	5047	マルチキャストのポート番号の省略値	0~65535
nttcpSumCheck	0	サムチェック制御	0: 無し, 2: 有り 1: データ比較有りなら無し
nttcpTimeout	30	タイムアウト時間(秒)	3~999
nttcpAutoStart	0	サーバーモードでの自動立ち上げ指定	0: 無し, 1: 有り
manuSwCommand	SOF1,SOF2, SOF3,SOF4,SOF5, SOF6,SOF7,SOF8	空または最大8個の実行コマンド	SONn, SOFn, SSRn MSON, MSOF MSONmmmmmmmm MSOFmmmmmmmm MSSETmmmmmmmm (lはスペースを表す)
manuSwComInterval	1,1,1,1,1,1,1,1	コマンド間実行間隔(秒)	1~3600
manuSwComFinish	10	コマンド終了時間(秒)	3~3600
pingPktSize	16	PINGパケットのデータ長	16~1472
resetCause	0	リセット原因表示	
popErrorCount	0	PING監視 POPサーバーへのアクセスエラー回数	0:表示のみ
ledBlinkEnabled	1	LEDの点滅の有効化	0:無効 1:有効
clock		起動後の経過時間(秒)	
sshServerEnabled	0	SSHサーバーの有効化	0:無効 1:有効
sshServerPort	22	SSHサーバーのTCPポート番号	
sshServerTimeout	10	SSHサーバーへのタイムアウト時間(秒)	
sshServerName	admin	SSHサーバーへの接続D	8文字以内
sshServerPassword	magic	SSHサーバーへの接続パスワード	16文字以内
logLevel	2	SSH使用中の表示メッセージレベル	
sshPublicDsaKey		KEYGENコマンドで生成するSSHキー	
sshPublicRsaKey		KEYGENコマンドで生成するSSHキー	
sshKnownHost1		SSHプロトコルでシャットダウンする ときのアウトレットごとのキー	
sshKnownHost2			
sshKnownHost3			
sshKnownHost4			
sshKnownHost5			
sshKnownHost6			
sshKnownHost7			
sshKnownHost8			
nvInName	文字列6	接点入力の名前	
nvInOnContactCommand		接点入力短絡時に実行する電源制御コマンド	
nvInOffContactCommand		接点入力開放時に実行する電源制御ロマンド	
nvInStatus	0,0,0,0,0,0,0,0	接点入力 状態	0:開放 1:短絡
nvInOnThreshold	1	接点入力認識時間(秒)	
nvInOffThreshold	1	接点入力が開放されたと認識する閾値(単位:秒)	
nvInIgnorePeriod	3	起動時に接点入力に連動した電源/接点 出力制御を行なわない期間(単位:秒)	
nvInActionMode	0,0,0,0,0,0,0,0	接点入力の極性	0:順極性(HでON) 1:逆極性(LでON)
nvInType	0,0,0,0,0,0,0,0	(ReadOnly)バルスの極性 nvInAcgtionModeの値が起動時にコピーされる	
nvInControlMode	0,0,0,0,0,0,0,0	接点入力モード	0:レベル 1:パルス
nvInPulseWidth	45,45,45,45,45,45,45,45	入力パルスの幅(msec単位)	45~32767
nvInPulseInterval	1,1,1,1,1,1,1,1	パルス検出間隔(sec単位)	
nvOutName	文字列7	接点出力の名前	
nvOutStatus	0,0,0,0,0,0,0,0	接点出力 状態	0:開放 1:短絡

nvOutControlMode	0,0,0,0,0,0,0,0	接点出力モード設定	0:短絡/開放 1:パルス出 カ
nvOutPulseWidth	50,50,50,50, 50,50,50,50	パルス出力時のパルス幅(×10mSec)	
errorN	0	シャットダウンスクリプト中の検出エラー数	
versionupEnabled	1	バージョンアップの有効化	0:無効 1:有効
httpCommondPotum		ダイレクトWEBコマンド実行後の戻り用URL	
nupcommandreum		("http://"を省いて記述)	
httpCommandNo	0	ダイレクトWEB実行後に表示されるページの設定	0:コマンド実行結果を表示 1:元の画面に戻る 2:httpCommandRetumで指 定したアドレスにジャンプ
httpCommandSet	1,1,1,1,1,1,1,1,1, 1,1,1,1,1,1,1,1	ダイレクトWEB実行後に表示されるページの 表示制限設定	
	1,1,1,1,1,1,1,1,1,		
httpScreen	1,1,1,1,1,1,1,1,	ブラウザに表示される画面/項目の表示設定	0:非表示 1:表示
	1,1,1,1,1,1,1,1,1, 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
	,,,,,,,,,,,,,	 PC, スマートフォン等端末の種類にあわせ	
httpPage I ype	0	て画面を切り替えるための設定	
httpPageStart	0	ログイン後に最初に表示されるページ	<ul> <li>0:簡易情報表示</li> <li>1:監視状態表示</li> <li>2:イベントログ表示</li> <li>3:電源制御</li> </ul>
userHtmlEnabled	0	ユーザーHTMLの有効化	0:無効 1:有効
userHtmlPort	8080	ユーザーHTMLに使用する着信ポート	
userHtmlLen	0	ユーザーHTMLのファイルサイズ	8189以下
userHtmlMode	0	html内で設定保存できる数字変数	
userHtmlFile		ユーザーが利用する任意変数	255文字以下
userHtmlBtnSizeW	120	ユーザーHTMLに配置するボタンの幅	999以下
userHtmlBtnSizeH	60	ユーザーHTMLに配置するボタンの高さ	999以下
userHtmlInterval	10	ユーザーHTMLの自動更新間隔	
userHtmlText		ユーザーhtml内でコメント等を記入する変数	255文字以下
userHtmlAddress		ユーザーが利用する任意変数	63文字以下
userHtmlOlOnBtnName	ON	配置する電源ONボタンの名称	19文字以下
userHtmlOlOffBtnName	OFF	配置する電源OFFボタンの名称	19文字以下
userHtmlOlRebootBtnName	REBOOT	配置する電源REBOOTボタンの名称	19文字以下
userHtmlOlReverseBtnName	PUSH	配置する電源REVERSEボタンの名称	19文字以下
userHtmlNvOnBtnName	ON	配置する接点ONボタンの名称	19文字以下
userHtmlNvOffBtnName	OFF	配置する接点OFFボタンの名称	19文字以下
userHtmlSet	1,1,1,1,1,1,1,1	ダイアログボックスを表示の有無	0:表示しない
userHtmlCode	0	ダイアログボックスの言語を選択する	<ul> <li>1:日本語で表示</li> <li>2:英語で表示</li> </ul>
userHtmlRefreshEnabled	1,1,1,1,1,1,1,1,1, 1,1,1,1,1,1,1,1	ボタンごとに自動更新を行なうかを設定する	0:行なわない 1:行なう
userHtmlRefreshContent	10	ボタンごとの自動更新を行なう場合の更新間隔	単位:秒
remConEnabled	0	接点情報延長機能 有効化	0:無効 1:有効
remConPort	0	(接点情報延長機能)サーバー(親機)ポート番号	
ipAdRemCon		(接点情報延長機能) クライアント(子機)側Pアドレス	最大8アドレス
remConAddrLimit	0	(接点情報延長機能)登録アドレス限定有効化	0:無効 1:有効
remConInMask	255	(接点情報延長機能)接点入力状態変化通知マスク	最下位ビットから順に接点 入力 0.通知しない 1:通知す る
remConInMaskAr	1111111	(接点情報並長機能)接点入力状態変化通知マスク  (WEB参照用)	左→石 1→8 接点  0:通知しない 1:通知する

remConIdleTime	1440	(接点情報延長機能)無通信監視時間(分)	0~1440の整数 0: 監視 しない
remConChkCount	5	(接点情報延長機能)接点入力状態変化監視回数	1~999の整数
ipAdRemConServer		(接点情報延長機能)サーバー(親機)側PPドレス	
remConErrCode	0	(接点情報延長機能)エラーコード	1:コマンドコード不正 2:コマンド長不正
remConInStatus	0,0,0,0,0,0,0,0	(接点情報延長機能)接点入力状態	左→右 1→8 接点 0:開放 1:短絡
remConOutStatus	0,0,0,0,0,0,0,0	(接点情報延長機能)接点出力状態	左→右 1→8 接点 0:開放 1:短絡
remConInChangeMask	0,0,0,0,0,0,0,0,0	(接点情報延長機能)接点入力状態変化フラグ	左→右 1→8 接点 0:変化なし 1:変化あり
remConOutChangeMask	1,1,1,1,1,1,1,1	(接点情報延長機能)接点出力状態変更許可フラグ	左→右 1→8 接点 0:変更不可 1:変更可能
remConInName	文字列8	(接点情報延長機能)接続装置の接点入力の名前	最大半角20文字
remConOutName	文字列9	(接点情報延長機能)接続装置の接点出力の名前	最大半角20文字
remConLinkEnabled	1	(接点情報延長機能)接点入出力連動許可	<ul> <li>0:連動禁止</li> <li>1:親機入力⇒子機出力のみ可</li> <li>2:子機入力⇒親機出力のみ可</li> <li>3:親機入力⇒子機出力/</li> <li>子機入力⇒親機出力,とも可</li> </ul>
remConWatchEnabled	1	(接点情報延長機能) 親機・子期間通信の死活監視 の有効/無効設定	0:無効 1:keep-alive送信 2:無通信タイマー
remConTimeout	60	(接点情報延長機能)タイムアウト時間(秒)	60~3600の整数
remConKAInterval	20	(接点情報延長機能) Keep-alive送信インターバル(秒)	20~60の整数
remConKARetry	3	(接点情報延長機能) Keep-alive送信の最大リトライ回数	0~10の整数

文字列1 Meikyo Remote Power Controller, SE10-8A7B1 Ver. 1.20A

文字列2 inforpc@meikyo.co.jp

文字列3 Meikyo 100BASE-TX Driver

文字列4 sysName,sysLocation,ipAdEntAddr,ifPhysAddress,mailExtraMsg1,mailLastEvent

文字列5 %9b%8.2rt%8.2ct%12.4rbr%12.4cbr%8c%10.2rcr%10.1ccr

文字列6 NV Input1,NV Input2,NV Input3,NV Input4,NV Input5,NV Input6,NV Input7,NV Input8

文字列7 NV Output1,NV Output2,NV Output3,NV Output4,NV Output5,NV Output6,NV Output7,NV Output8

文字列8 Remote NV Input 1,Remote NV Input 2,Remote NV Input 3,Remote NV Input 4,Remote NV Input 5,Remote NV Input 6,Remote NV Input 7,Remote NV Input 8

文字列9 Remote NV Output 1 ,Remote NV Output 2 ,Remote NV Output 3 ,Remote NV Output 4 ,Remote NV Output 5 , Remote NV Output 6 ,Remote NV Output 7 Remote NV Output 8

## ■ ログ一覧表

内容	情報	TELNETなどのLOG
ログ開始		Log Start
PING送信	接点no. lpaddr no.	ping
PING無応答	接点no. lpaddr no.	No Echo
死活判定(NoAction)	接点no.	No Action
死活判定(接点ON)	接点no.	NV On
死活判定(接点OFF)	接点no.	NV Off
正常/回復中	接点no.	NV Recovered
スケジュール(接点ON)	接点no.	NV On by Schedule
スケジュール(接点OFF)	接点no.	NV Off by Schedule
全接点ON	接点ALLID(IDは接続者)	MSON *1
全接点OFF	接点ALLID(IDは接続者)	MSOF *1
接点出力状態設定	接点出力状態	MSSET
接点ON	接点no.ID (IDは接続者)	SON
接点OFF	接点no.ID (IDは接続者)	SOF
UTY接続	IPaddr	>Uty
UTYログインせず切断	IPaddr	<uty< td=""></uty<>
UTYログイン	lpaddr ID (IDは接続者)	==>Uty
UTYログアウト	lpaddr ID (IDは接続者)	<=Uty
メールログイン要求	lpaddr no. (no.は設定番号)	>Mail
メールログイン	lpaddr no. (no.は設定番号)	==>Mail
メールログアウト	lpaddr no. (no.は設定番号)	<==Mail
TELNET接続	IPaddr	>Telnet
TELNETログインせず切断	IPaddr	<telnet< td=""></telnet<>
TELNET多重超接続	IPaddr	>>xTelnet
TELNETログイン	IPaddr	==>Telnet
TELNETログアウト	IPaddr	<==Telnet
Web接続		>Web
Webログイン		==>Web
Webログアウト		<=Web
PPPoE 接続した	IPaddr	PPPoE Connect
PPPoE 切断した		PPPoE Disconnect
PPPoE 切断された		PPPoE Disconnected
PPPoE ノットレディになった		PPPoE Modem Down
PPPoE レディになった		PPPoE Modem Up
PPPoE 接続状態に戻った		PPPoE Continue
PPPoE IPリンクが解放された		PPPoE IP Link Release
設定変更	[変数名] D (Dは接続者)	variable set (xxxxx)
設定書込(WRITE)	ID (IDは接続者)	write to FROM
NTPサーバ接続	hour minute second	NTP hhimmiss
NTPサーバ接続エラー		NTP Server Access Error
メールエラー		Maíl Error
SSHサーバ接続	IPaddr	SSH Server Connected

\*1 MSON, MSOF のログ内容は、全接点時と接点指定時に共通です。

■ コマンドー覧表

コマンド	内	容		
SONn	指定された接点の出	出力開始 n=1~8		
SOFn	指定された接点の出	出力停止 n=1~8		
SSRn	指定された接点の状	状態反転 n=1~8		
MSON	全接点の出力開始			
MSOF	全接点の出力停止			
	接点出力の出力開始	出 (接点指定)		
MSON_mmmmmmmm	m: 左側から接	点1~8 (1: ON, 0: 無動作)		
1005	接点出力の出力停止	上 (接点指定)		
IVISOF _ mmmmmmmm	m: 左側から接	点1~8 (1: OFF, 0: 無動作)		
MSSET	接点出力状態の設定	Ē		
(」はスペースを表す)	m: 左側から接			
	全接点の状態取得			
POS	応答:mmmmr	nmmm 左側から接点1~8		
	m=0 :	OFF 1:ON		
	全接点の状態詳細の	D取得		
	応答:ABXXXX	, ABXXXX, ABXXXX, ABXXXX, ABXXXX,		
	ABXXXX,			
YDOS	ABXXXX, ABXXXX			
AF03	左側から接点1~8			
	A=0 : C	DFF 1:ON		
	B=0 : C	DFF遅延中 1:ON遅延中		
	XXXX=Bのタイマ残り時間			
	死活監視状態の表示	⊼ n=1~8		
	<u>nを省略すると</u>	2全ての接点を表示します。 		
	コンマ区切りで表示			
	ContactNo.	接点番号[1~8]		
	Contact	接点状態[O:Off 1: On]		
	Judge	刊足[1・LI吊 Z・共吊 3・凹俊中]		
	Action Count			
	Last Fing I NoEchoCourt1			
	NoEchoCouril I			
OLS[n]	TNOLCHOTHET			
	Loot Dipg?	[U·木改定 I·心合时间 99999·木心合] フドレフクの是後の応答[1・正営 2・男営]		
	Last Filligz NoEchoCoulot?	アドレス2011版6011111日 21共市]		
	NoEchoTimo?			
		「0·+認定 1・応答時間 QQQQ・+応答]		
	Last Ping?			
	NoFeboCount?			
	NoFchoTime?	アドレス3の応答時間 (me)		
		○ : このののでは、1: 「○ : 小さい」、1: 「○ : 未設定 1: 「○ : 本設定 1: 「○ : 本設定 1: 「○ : 未設定 1: 「○ : 未設定 1: 「○ : 未成答]		
	Last Ping4	アドレス4の最後の応答[1:正堂 2:異堂]		
	NoEchoCount4	アドレス4の未応答问数		

	NoEchoTime4	アドレス4の応答時間(ms)	
		[0:未設定 1:応答時間 9999:未応答]	
VER	バージョンの表示		
?xxxx	変数の表示(x	xxxは変数名)	
LIST	全ての変数の値を表	हित्त	
.ХХХХ=УУУУ	変数を設定し、設定	Eされた変数を表示 (xxxxは変数名, yyyyは変数値)	
WRITE	変数の設定をFROM	Mに書き込みます。	
&SAVE	設定された変数の得	・復元ができるデータを出力します。	
CPURESET	CPUをリセットし	ます。(接点状態は変化しません。)	
LOG もしくは LOG_n	ログの表示 (nを	付けると最新n個を表示)	
LOGB	ログの表示 (最新	「のログから表示します。	
LOGCLEAR	ログのクリア		
LOGCLEAR T	ログのクリア及び言	記録時間のリセット	
LOGDISP	ログ表示モード		
LOGDISP=bbb	ログ表示モードの変	更 (bbbはログビット)	
	接点出力の状態を取	7得	
SSOn	nを省略すると全ての接点出力を表示します。		
	例)SSO2 N	IV_OUT #2: OPENED	
	接点入力の状態を取	7得	
SSIn	nを省略すると全ての接点入力を表示します。		
	例)SSI2 N	/_IN #2:OPENED	
	年月日設定		
	例) DATE yy/mm	n/dd yy:年 mm:月 dd:日	
TIME [bb'mm'cc]	現在時刻設定(秒は	は省略可)	
	例) TIME hhimi	miss hh:時 mm:分 ss:秒	
PING addr	ICMPを4回送信し	ます。	
	例) PING [IPア	ドレス]	
	0 (プロンプト表示	無しう	
PROMPT=n	1(「>」のプロンプト表示)		
	2(「機器名〉」のプロンプト表示)		
	*変数「promp	otMode」により接続直後のモードが決まります。	
	変数「ipAdTelnet	T」のアドレス,変数「remoteTelnetPortT」のポー	
TEI NET	トにTELNETクライアントとして接続します。		
	DiscCharに設定した文字を入力すると切断終了する。		
	一度に受信するデ-	-タは,概ね40Kバイト以下でご利用ください。	
PASS	パスワードの変更	新しんパスワードを2回入力します。	
	※入力を失敗す	すると変更されません。	
EXIT	回線切断最初のよ	Z字がE, e, Q, qの場合はEXITと認識します。	

※「XPOS」「VER」「PASS」などいくつかのコマンドはログイン時のみ有効です。

通信仕様	LAN通信仕様		
			NTD HTTP SNMP PPPAE NTTCP
			SNIMDマネージャー TELNET SSH
	1	山山谷市大学	
		响仰万法	
	接点	点制御/管理	
			接点状態反転
			接点状態取得
			年間スケジュール機能
林彬台比	74	テジュ 川 雄船	RTC(Real Time Clock)による時刻保持
1及日上		ノユール液化	NTPによる時刻同期機能
			スケジュールON/OFF機能
			ICMP送信
	状態	態監視	通報機能:SNMPトラップ, UDPパケット
			Mail通知
	WOL対応機能		あり:MAGIC PACKET送信
			10Base-T/100Base-TX (RJ45)
			(IEEE802.3に準拠)
	イン	ターフェース	接点入力 ×8
			無電圧接点出力 ×8 DC30V 1A AC30V 1A
			(抵抗負荷)
	本	入力電圧	DC12V
18/11/24	体	消費電力	最大 6W 以下
ハート仕様	付属	。 属ACアダプタ	PSE取得済
		定格入力電圧·周波数	AC100V ±10% 50/60Hz
		定格出力電圧·電流	DC12V 1.2A
	/+ F		温度 5~40℃
	使用填現		湿度 20~80%(ただし結露なきこと)
	外刑		160(W)×40.0(H)×160(D) mm
	重量		0.9kg(ACアダプターを除く)
規格	 RoHS指令対応品		

\* 外形寸法の(H)は脚ゴムを含みません。

\* 付属品の接点端子装着時の外形寸法(D)は170mmとなります。

1) 入力





問い合せ先

# 明京電機株式会社

〒114-0012 東京都北区田端新町1-1-14 東京フェライトビル4F TEL 03-3810-5580 FAX 03-3810-5546

ホームページアドレス

https://www.meikyo.co.jp/



- (1)本書および製品の内容の一部または全部を無断で複写複製することは禁じます。
- (2) 本書および製品の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書および製品の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、 記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4)本製品を運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承く ださい。
- (5)本製品がお客様により不当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または弊社 および弊社指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害などに つきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6)弊社指定以外のオプションを装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご 了承ください。

POSE (POint SEquence manager) SE10-8A7B1 取扱説明書 2018年 12月 第1.3版